

平成27年度業務報告目次

1	埼玉県産業技術総合センター概要	1
1.1	沿革.....	1
1.2	組織と事務分掌.....	2
1.3	職員.....	3
1.4	所在地、土地建物.....	4
1.5	会計.....	5
1.6	貸会議室等.....	6
1.6.1	多目的ホール、会議室の使用料等.....	6
1.6.2	多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数.....	6
1.6.3	多目的ホール、会議室の利用者別利用件数.....	6
1.6.4	多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数.....	6
1.7	試験研究設備の整備状況.....	7
2	技術支援	8
2.1	技術相談・技術指導.....	8
2.1.1	職員による技術相談・技術指導.....	8
2.1.2	技術アドバイザー指導事業.....	10
2.1.3	現場改善・製品化支援事業.....	11
2.2	依頼試験.....	12
2.2.1	依頼試験.....	12
2.2.2	放射線測定依頼試験.....	13
2.2.3	試験所の登録.....	13
2.3	機器開放.....	14
2.3.1	機器開放.....	14
2.3.2	機器操作技術認定研修.....	15
2.4	技術普及業務.....	15
2.4.1	SAITEC 研究発表会.....	15
2.4.2	SAITEC 北部研究所研究発表会.....	15
2.5	次世代自動車支援事業の運営支援.....	16
2.5.1	部会及び各研究会参加企業数.....	16
2.5.2	研究会等の名称及び担当者一覧表.....	16
2.5.3	各研究会の概要.....	16
2.6	技術講習会、講演会の開催.....	17
2.7	培養酵母の頒布.....	21
3	研究開発	22
3.1	研究開発.....	22
3.1.1	政策的研究課題.....	22
3.1.2	受託研究.....	23
3.1.3	委託研究開発.....	23
3.1.4	科学研究費助成事業(科研費).....	24
3.2	研究開発及び技術支援による実用化・商品化.....	24
3.3	客員研究員.....	24
3.4	研究成果の公表.....	25
3.4.1	センター主催の発表.....	25
3.4.2	学会等への発表(国際会議含む).....	26
3.5	研究課題の評価.....	28
3.5.1	事前評価.....	28
3.5.2	事後評価.....	28
3.5.3	中間評価.....	28

4	研究開発支援	29
4.1	産学官連携の推進	29
4.1.1	産学官連携推進について	29
4.1.2	産学官連携関連展示会(主催事業)	29
4.1.3	産学官連携に関連する展示会	30
4.2	助成制度への取り組み	31
4.2.1	研究開発型企業支援事業.....	31
4.2.2	埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績.....	31
4.3	特許の取得推進とその活用.....	32
4.3.1	産業財産権の一覧.....	32
4.3.2	実施許諾	34
5	交流	35
5.1	異業種交流支援事業.....	35
5.1.1	産学官交流プラザ	35
5.1.2	埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼北ネット)	35
5.1.3	埼玉食品テクノプラザ	36
5.1.4	さきたま利根テクノプラザ(STTEP)	36
5.2	新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催).....	37
5.2.1	鋳物技術委員会	37
5.2.2	埼玉県ものづくり研究会	37
5.2.3	埼玉県熱処理技術研究会	37
5.2.4	品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉).....	37
5.2.5	埼玉県米菓研究会	37
5.2.6	清酒製造技術研究会	37
5.2.7	埼玉県ロボットニーズ研究会	38
5.3	首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】	39
5.3.3	研究発表者相互派遣事業	39
(1)	発表者派遣	39
5.3.4	産業交流展 2015 への参加	39
5.4	RINGS NET (新潟、群馬、埼玉 3 県公設試連携)	41
5.4.1	担当分野別交流会等の開催.....	41
5.5	講演会等講師派遣	42
5.6	審査会等への派遣	43
5.7	技術評価.....	44
5.8	会議等への参加	45
6	情報提供	49
6.1	研究報告	49
6.2	利用促進.....	49
6.2.1	業務報告	49
6.2.2	インターネットによる技術情報の提供.....	49
6.2.3	記者発表	49
6.2.4	マスメディア報道	49
7	起業化支援	51
7.1	入居企業.....	51
7.2	支援実績.....	51
8	人材育成	52
8.1	研修生の受け入れ	52
8.1.1	中小企業等研究者養成研修事業.....	52
8.1.2	インターンシップ事業.....	53
8.1.3	平成 27 度鋳造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ	53

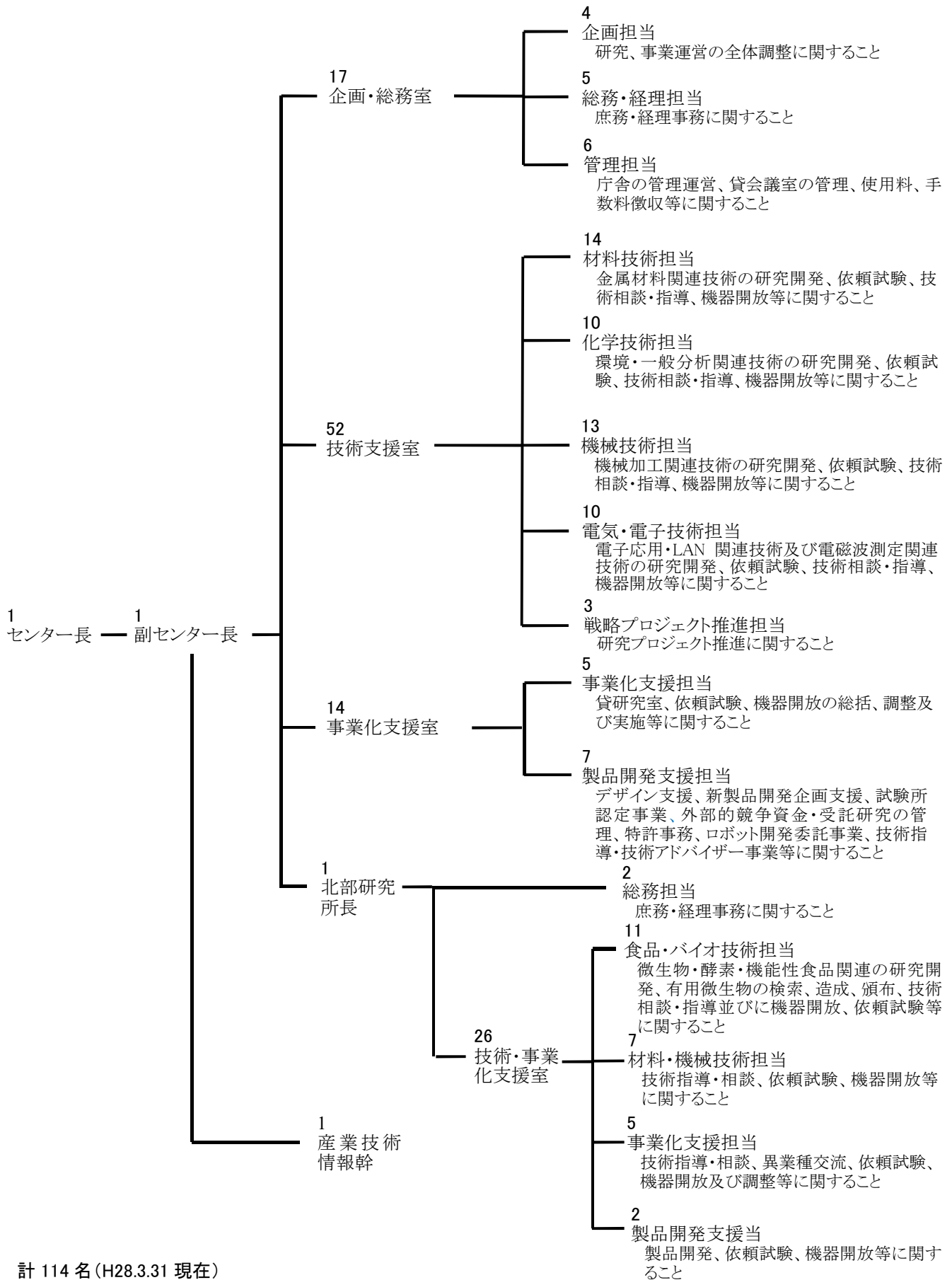
8.2	技術競技会	54
8.2.1	第 51 回埼玉県鑄造技術コンクール	54
8.2.2	平成 27 年度(第 58 回)埼玉県めっき技術競技会	54
8.2.3	平成 27 酒造年度春季清酒鑑評会	55
	平成 27 酒造年度春季清酒鑑評会技術優秀賞(組合員名簿順)	55
8.3	ものづくり開発支援研修	56
8.4	科学技術体験学習の実施	57
8.4.1	スーパーサイエンスハイスクール事業	57
9	その他の事業	58
9.1	職員研修	58
9.2	顧客満足度 (CS) アンケート	61
9.3	運営委員会の開催	61
9.3.1	開催状況	61
9.3.2	運営委員	61

1 埼玉県産業技術総合センター概要

1.1 沿革

大正10年	埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の3部を設置
大正11年	整理部を増設し4部となる
大正12年	図案部を増設し5部となる
昭和 5年	醸造部を増設し(昭和21年に技術部に改称)6部となる 埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転
昭和 6年	埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転
昭和 8年	埼玉県川口鋳物工業試験場設立
昭和 9年	浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、 熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称
昭和11年	埼玉県小川製紙研究所設立
昭和12年	埼玉県仏子染織指導所設立 埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称 埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称 埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し(昭和18年に廃止)、埼玉県熊谷醸造指導所と改称 埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称
昭和19年	埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称 埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称 埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称 埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称
昭和20年	埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称
昭和24年	埼玉県行田繊維工業指導所設立
昭和31年	埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称 埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称 埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称 埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称 埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称 埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称
昭和36年	埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置
昭和38年	埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称
昭和42年	埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止
昭和47年	醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称
昭和58年	埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称 埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組
平成 7年	鋳物機械工業試験場において、新技術事業団(現(独)科学技術振興機構)及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置
平成10年	5研究機関7施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立 本所(川口市・旧鋳物機械工業試験場)、南部研究所(浦和市・旧工業技術研究所)及び北部研究所(熊谷市・旧食品工業試験場)の3施設を設置
平成15年	埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立 埼玉県産業技術総合センター(川口市)及び埼玉県産業技術総合センター 北部研究所(熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所)の2施設を設置

1.2 組織と事務分掌



1.3 職員

センター長 (事)	中村 雅 範
副センター長 (兼)企画・総務室長(事)	鈴木 康 之
産業技術情報幹(事)	柿 間 淳

◆本 所

企画・総務室		副 室 長 (事)	五百扇 久 男
副 室 長 (技)	細 野 光 広		
企画担当		担 当 部 長 (技)	福 島 泰 年
主 任 (技)	蓮 俊 介	技 師	岩 崎 翼
技 師	佐 藤 優		
総務・経理担当		担 当 部 長 (事)	齊 藤 公 志
主 任 (事)	竹 井 浩 子	主 任 (事)	島 村 洋 子
嘱託(非常勤)	鎌 田 芳 江	嘱託(非常勤)	武 田 祐 子
管理担当		担 当 部 長 (事)	大 山 亨
主 任 (事)	田 川 英 昭	嘱託(非常勤)	阿 満 誠 一 郎
嘱託(非常勤)	斉 藤 留 美	嘱託(非常勤)	橋 本 章 世
嘱託(非常勤)	芳 賀 祐 子		
技術支援室		室 長 (技)	高 橋 利 男
副室長(兼)戦略プロジェクト (技)	戸 枝 保		
材料技術担当		担 当 部 長 (技)	麻 生 信 之
担 当 部 長 (技)	永 野 正 明	専 門 研 究 員 (技)	飽 津 彰
専 門 研 究 員 (技)	矢 澤 貞 春	専 門 研 究 員 (技)	篠 崎 誠
専 門 研 究 員 (技)	清 水 宏 一	主 任 (技)	常 木 裕 己
主 任 (技)	秋 山 稔	主 任 (技)	菊 池 和 尚
主 任 (技)	和 田 健 太 朗	主 任 (技)	原 田 雅 典
技 師	廣 島 啓 太	専 門 員 (技)	澁 谷 康 彦
専 門 員 (技)	永 井 寛		
化学技術担当		担 当 部 長 (技)	鈴 木 昌 資
主任 研究員 (技)	奥 野 慎	専 門 研 究 員 (技)	熊 谷 知 哉
専 門 研 究 員 (技)	佐 野 勝	専 門 研 究 員 (技)	灘 野 朋 美
専 門 研 究 員 (技)	坂 本 大 輔	主 任 (技)	須 川 真 希 代
技 師	伊 藤 幸 希	技 師	細 見 喜 洋
技 師	大 西 健 太		
機械技術担当		担 当 部 長 (技)	出 口 貴 久
主任 研究員 (技)	小 熊 広 之	専 門 研 究 員 (技)	宇 野 彰 一
専 門 研 究 員 (技)	南 部 洋 平	主 任 (技)	島 崎 景 正
主 任 (技)	山 田 岳 大	主 任 (技)	落 合 一 裕
主任 専門員 (技)	町 田 芳 明	技 師	長 野 隼 人
技 師	内 藤 理 恵	技 師	宮 崎 智 詞
技 師	佐 藤 宏 惟	専 門 員 (技)	棚 橋 綱 男
電気・電子技術担当		担 当 部 長 (技)	安 藤 昌 弘
主任 研究員 (技)	荻 野 重 人	専 門 研 究 員 (技)	能 戸 崇 行
専 門 研 究 員 (技)	鈴 木 浩 之	主 任 (技)	森 田 寛 之
主 任 (技)	宗 形 隆 史	技 師	鈴 木 啓 介
技 師	香 西 良 彦	技 師	杉 山 和 樹
技 師	横 森 千 博		
戦略プロジェクト推進担当		専 門 研 究 員 (技)	栗 原 英 紀
主 任 (技)	半 田 隆 志	技 師	稲 本 将 史

事業化支援室		室長(技)	増田伸二
副室長(技)	關根正裕		
事業化支援担当		担当部長(事)	青山正則
技師	岡林美由貴	専門員(技)	高柳博通
専門員(技)	齊藤弘美	専門員(技)	宮原進
製品開発支援担当		担当部長(技)	巻島秀男
担当部長(技)	小口正浩	専門研究員(技)	原田勝利
専門研究員(技)	山川徹郎	主任(技)	本多春樹
主任専門員(技)	影山和則	技師	増淵維摩

◆北部研究所

所長(技)	中島規之		
総務担当		担当部長(事)	峯岸美智子
主任(事)	今井精一		
技術・事業化支援室		室長(技)	小島登貴子
食品・バイオ技術担当		主任研究員(技)	横堀正敏
専門研究員(技)	細井永次	専門研究員(技)	仲島日出男
主任(技)	常見崇史	主任(技)	樋口誠一
主任(技)	富永達矢	主任(技)	海野まりえ
主任(技)	飯塚真也	技師	成澤朋之
技師	鈴木康修	技師	齋藤健太
材料・機械技術担当		担当部長(技)	小林茂
専門研究員(技)	井上裕之	主任(技)	関根俊彰
主任(技)	鈴木理博	主任専門員(技)	大川薫
技師	鳥羽遼子	専門員(技)	山口葉子
事業化支援担当		担当部長(事)	坂田義雄
専門員(技)	村田一英	専門員(技)	北村英三
専門員(技)	竹内了	専門員(技)	清水英明
製品開発支援担当		担当部長(技)	高橋広子
技師	石井誠		

(H28.3.31 現在)

1.4 所在地、土地建物

◆ 埼玉県産業技術総合センター		
所在地	川口市上青木三丁目12番18号	
土地		18,352.58 平方メートル
建物		
	埼玉県産業技術総合センター	27,287.63 平方メートル
	埼玉県生活科学センター	4,420.30 平方メートル
	川口市立科学館	3,784.61 平方メートル
	合計	35,492.54 平方メートル
構造	地上9階/地下1階	
◆ 北部研究所		
所在地	熊谷市末広二丁目133番地	
土地		5,923.30 平方メートル
建物		
	本館	1,687.92 平方メートル
	試験棟	494.27 平方メートル
	新館	602.84 平方メートル
	試験棟	312.86 平方メートル
	その他	73.60 平方メートル
	合計	3,171.49 平方メートル

1.5 会計

◆歳入

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
使用料及び手数料	218,385,269	17,264,725	235,649,994
使用料	145,623,039	5,262,715	150,885,754
総務使用料	37,917,534	455,155	38,372,689
商工使用料	107,705,505	4,807,560	112,513,065
手数料	72,762,230	12,002,010	84,764,240
商工手数料	72,762,230	12,002,010	84,764,240
国庫支出金	9,720,000	0	9,720,000
国庫補助金	9,720,000	0	9,720,000
商工費国庫補助金	9,720,000	0	9,720,000
財産収入	14,825,918	629,000	15,454,918
財産運用収入	14,811,981	0	14,811,981
財産貸付収入	14,811,981	0	14,811,981
財産売払収入	13,937	629,000	642,937
物品売払収入	13,937	0	13,937
生産物売払収入	0	629,000	629,000
諸収入	17,178,176	18,107,000	35,285,176
受託事業収入	11,632,300	0	11,632,300
商工受託事業収入	11,632,300	0	11,632,300
雑入	5,545,876	18,107,000	23,652,876
雑入	5,545,876	18,107,000	23,652,876
合 計	260,109,363	36,000,725	296,110,088

◆歳出

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
総務費	36,546,440	1,659,370	38,205,810
総務管理費	77,819	1,659,370	1,737,189
一般管理費	0	168,880	168,880
人事管理費	77,819	294,736	372,555
財産管理費	0	1,195,754	1,195,754
防災費	0	0	0
消防防災費	0	0	0
県民費	36,468,621	0	36,468,621
消費者対策費	36,468,621	0	36,468,621
商工費	483,681,066	87,471,737	571,152,803
商工業費	483,681,066	87,471,737	571,152,803
商工総務費	4,896,826	3,131,096	8,027,922
商工振興費	56,686,101	315,292	57,001,393
産業技術総合センター費	422,098,139	84,025,349	506,123,488
合 計	520,227,506	89,131,107	609,358,613

1.6 貸会議室等

1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等

(円)

階	区分 施設名	面積 (m ²)	定員 (人)	午 前	午 後	夜 間	超 過 (1時間)
1	多目的ホール1	199.64	130	6,350	8,470	6,350	2,110
1	多目的ホール2	273.92	170	8,720	11,600	8,720	2,900
3	3A会議室	66.46	30	2,100	2,810	2,100	690
3	3B会議室	66.46	30	2,100	2,810	2,100	690
4	4A会議室	66.46	33	2,100	2,810	2,100	690
4	4B会議室	66.46	33	2,100	2,810	2,100	690
4	4C会議室	70.92	33	2,250	3,000	2,250	750

1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数(件)				利用人数(人)			
	午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計
多目的ホール1	142	154	78	374	38,923	39,437	28,019	106,379
多目的ホール2	152	155	76	383	42,368	42,293	27,837	112,498
3A会議室	97	127	67	291	2,860	3,368	1,711	7,939
3B会議室	96	134	62	292	3,122	3,943	1,637	8,702
4A会議室	130	168	98	396	3,984	4,765	2,212	10,961
4B会議室	122	157	88	367	3,485	4,275	2,001	9,761
4C会議室	80	107	62	249	2,300	3,032	1,625	6,957
合 計	819	1,002	531	2,352	97,042	101,113	65,042	263,197

1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他 官公庁	公社 公団	入居商 工団体	他の商 工団体	民間 事業所	その他	合計
件 数	243	149	448	55	200	22	1,052	183	2,352
百分比(%)	10.3	6.3	19.0	2.3	8.5	0.9	44.7	7.8	

1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件 数	582	425	143	174	222	806	2,352
百分比(%)	24.7	18.1	6.1	7.4	9.4	34.3	

1.7 試験研究設備の整備状況

新規購入機械器具

品名	数量	銘柄・規格等	設置場所
雷サージ試験機	1	(株)ノイズ研究所 LSS-F03A3	本所
純水・超純水製造装置	1	オレガノ(株)ヒュアライト PRB-002A PURELAB flex-UV	本所
超純水製造装置	1	メルク(株)Milli-Q Integral MT 10	本所
ループアンテナ	1	アステック(株) ETS-LINDGREN 6502	本所
電磁式・渦電流式膜厚計	1	(株)ケット LZ-200J	本所
ウェットブラスト	1	マコー(株) LAC-RIM 3D	本所
赤外分光光度計用試料調整器具	1	STJapan タイヤモンド'エクスプレスII 2mmSTJ-0194	本所
蛍光X線微小部分分析計 ※1	1	(株)日立ハイテクサイエンス EA6000VX	本所
汎用振動計 ※2	1	リオン(株) 加速度検出器 I・II インパルスハンマ 周波数分析器	本所
超音波洗浄機	1	(株)エスエヌディ 卓上型 US-10RS	本所
大型プリンター	1	キヤノン(株) imagePROGRAF iPF8400SE 8572B001	本所
充放電装置	1	東洋システム(株) TOSCAT-3100	本所
熱分析装置	1	(株)パーキンエルマー STA6000/DSC8500	本所
ラミネートセル製造評価システム	1	ワイヤレスポテンショ/カルバノスタットアナライザー 等	本所
電子黒板	1	プラス(株) コピーボード N-21S-ST	本所
電子黒板	1	プラス(株) コピーボード N-20JI	本所
分析天秤	1	メラー社 XPE205V	本所
ナノ材料攪拌機	1	プライミクス(株) フィルミックス 56-L 型	本所
振動試験装置	1	エミック(株) F-26000BDH/LA26AW	本所
非接触微細三次元測定機 ※3	1	アリコナ社 インフィニートフォーカス G5	北部研究所
倒立型金属顕微鏡	1	カールツァイスマイクロスコピー(株) AxioObserver.Z1m	北部研究所
フーリエ変換型顕微赤外分光分析装置	1	(株)パーキンエルマー Fronter MIIR/NIR plus NIRA/Spotlight 150	北部研究所
超純水製造装置	1	メルク(株) ElixUV5+Milli-Q Reference	北部研究所
高圧蒸気滅菌器	1	(株)平山製作所 HV-25LB	北部研究所
恒温恒湿器	1	ヤマト科学(株) IG401 型	北部研究所
スピンコーター	1	(株)アクティブ ACT-220D II	北部研究所
大型プリンター	1	EPSON(株) SC-P8050	北部研究所

※1 平成26年度経済産業省補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」による

※2 公益財団法人 JKA の「公設工業試験研究所等における共同研究補助事業」による

※3 公益財団法人 JKA の「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

2 技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の開放等を行うとともに、研究発表会等により技術の普及に努めた。また(公財)埼玉県産業振興公社が研究会等を運営し、電気自動車の分解展示等を行う際の支援を当センターが行った。

2.1 技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的問題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導及び外部の技術専門家、技術アドバイザー等による技術相談・指導を実施した。

2.1.1 職員による技術相談・技術指導

◆本所

分類	項目	相談件数
機械関連	切削に関すること	818
	特殊加工に関すること	1,110
	設計に関すること	33
	精密測定に関すること	2,891
鋳物関連	鉄鋳物に関すること	156
	非鉄鋳物に関すること	178
	鋳型・鋳造方案に関すること	40
	鋳物不良対策に関すること	68
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	92
	腐食、防食に関すること	492
	熱処理に関すること	39
	塗装技術に関すること	11
材料試験・組織等	成分分析(金属)に関すること	381
	成分分析(非金属)に関すること	1,707
	材料強度等に関すること	682
	材料の物性、工業規格に関すること	562
	顕微鏡組織観察等に関すること	530
	材料のクレーム対策に関すること	61
	非破壊検査に関すること	125
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	18
	制御技術に関すること	67
	電気、電子技術に関すること	2,730
窯業関連	窯業(製造)技術に関すること	6
	セラミックス技術に関すること	29
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	564
	複合・接着技術に関すること	31
デザイン関連	商品企画に関すること	99
	プロダクトデザインに関すること	58
	グラフィックデザインに関すること	7
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	334
環境技術関連	再資源化に関すること	2
	廃棄物処理に関すること	9
	環境等に関すること	4
	環境浄化技術に関すること	14
	省エネ技術に関すること	4
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	228
	機器操作に関すること	204
	製品開発に関すること	357
	生産技術に関すること	75
	材料・製品試験に関すること	377
	講習会、研修会等に関すること	97
	アドバイザー指導等に関すること	61
	異業種交流に関すること	22
	情報検索に関すること	8
	特許に関すること	37
	制度融資、補助金等に関すること	209
	その他上記以外の事項	568
計 (うち実地指導件数)		16,195 (1,773)

◆北部研究所

分類	項目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	64
	素材分析に関すること	205
	成分分析(金属)に関すること	9
	成分分析(非金属)に関すること	21
繊維・デザイン関連	染色加工等に関すること	1
	印刷技術に関すること	0
	染色堅ろう度等に関すること	58
	型紙調整等に関すること	0
	デザイン等に関すること	213
食品関連	酒類の製造に関すること	293
	穀類食品の製造に関すること	88
	調味料の製造に関すること	9
	漬物の製造に関すること	37
	その他食品の製造に関すること	63
	食品成分に関すること	139
	食品素材に関すること	75
	微生物・酵素に関すること	570
食品分析に関すること	340	
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	16
	素材の応用技術に関すること	81
設計・生産関連	切削に関すること	0
	特殊加工(機械等)に関すること	0
	設計に関すること	0
	精密測定に関すること	215
	生産技術(機械等)に関すること	0
	材料・製品試験(機械等)に関すること	44
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	41
	腐食・防食に関すること	324
	熱処理に関すること	145
	塗装技術に関すること	18
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	241
	材料の物性・工業規格に関すること	6
	顕微鏡組織観察等に関すること	81
	材料のクレーム対策に関すること	59
	非破壊検査に関すること	2
環境技術関連	再資源化に関すること	2
	省エネ技術に関すること	0
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	24
	機器操作に関すること	79
	コンピュータ等に関すること	1
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	126
	技術アドバイザー指導等に関すること	51
	異業種交流に関すること	61
	法規・規格・表示に関すること	4
	産業情報等の提供に関すること	6
	行政情報等の提供に関すること	11
その他上記以外の事項	84	
小計 (うち実地指導件数)		3,907 (517)

◆合計

機関名	相談件数 (うち実地指導件数)
本所	16,195(1,773)
北部研究所	3,907 (517)
合計	20,102(2,290)

2.1.3 現場改善・製品化支援事業

県内中小企業等の現場改善や製品化における課題を解決するため、依頼のあった企業に専門家を派遣した。その主な成果は、次のとおりである。

○ 現場改善・製品化支援指導件数

◆本所

産業分野	企業数
木材・木製品製造業	2
金属製品製造業	2
生産用機械器具製造業	1
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1
電気機械器具製造業	2
小計	8

技術指導分野	件数
新製品・新技術の開発	4
製造工程の改善	3
品質管理技術の向上	1
規格・基準適合、認証取得	0
産業財産権(特許等)	0
省エネ	0
その他	0
小計	8

◆北部研究所

産業分野	企業数
食料品製造業	1
小計	1

技術指導分野	件数
生産管理	1
小計	1

◆合計

機関名	指導企業数	指導日数
本所	8	26
北部研究所	1	5
合計	9	31

2.2 依頼試験

企業からの依頼に応じて、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

2.2.1 依頼試験

本所、北部研究所とも依頼試験件数の多かった項目は、機器分析、強度試験及び精密測定であった。

◆本所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	117	293,130
	機器分析	4,771	29,360,640
材料試験	強度試験	2,495	2,728,460
	物理試験	85	398,650
	組織試験	1,602	4,991,560
	耐候性試験	276	1,563,460
	表面処理試験	1,293	4,131,070
測定及び検査	精密測定	2,885	6,436,830
	EMC測定	108	1,022,050
	非破壊検査	247	1,701,830
調製	試験片調製	783	636,570
立会試験		1	1,300
その他依頼試験		3,836	19,389,950
オーダー試験		21	58,590
試験成績書の複本		27	7,020
小 計		18,547	72,721,110

◆北部研究所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	305	274,960
	機器分析	483	1,521,620
材料試験	強度試験	733	595,660
	物理試験	185	192,630
	組織試験	364	997,540
	表面処理試験	282	1,342,400
	染色堅ろう度試験	187	129,890
測定及び検査	精密測定	740	1,644,390
官能試験	温度設定のない試験	4	1,040
調製	試験片調製	119	99,930
その他の依頼試験		1,396	5,043,610
オーダー試験		13	41,340
小 計		4,811	11,885,010

◆合計

機 関 名	件 数	金額(円)
本所	18,547	72,721,110
北部研究所	4,811	11,885,010
合 計	23,358	84,606,120

2.2.2 放射線測定依頼試験

平成23年3月の福島第一原子力発電所の事故発生により、放射能汚染の風評被害が工業製品にも起きた。風評被害に対応するため、平成23年度より工業製品の放射線測定の依頼試験を行っている。

検査対象	検査内容	検査実施場所	測定単位
1検体の一辺の大きさ80cm以内、重量30kg以内の工業製品(個体工業製品に限る)	サーベイメータによる製品表面の放射線量測定	本所	Cpm
			μ Sv/h
		北部研究所	Cpm
			μ Sv/h

機関名	件数	検体数
本所	9	41
北部研究所	6	60
合計	15	101

2.2.3 試験所の登録

当センターは、独立行政法人製品評価技術基盤機構において、工業標準化法の規定に基づく製品試験を行う者(試験所)を対象とした登録制度に登録されている。

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	登録年月日
燃焼-赤外線吸収法	試験方法規格 JIS G 1211-3 [適用範囲 0.040% \leq C \leq 4.00%]	平成20年8月1日
ロックウェル硬さ試験	試験方法規格 JIS Z 2245[適用範囲 20HRC \leq ロックウェル硬さ \leq 60HRC]	平成20年8月1日
金属材料引張試験	試験方法規格 JIS Z 2241 [適用範囲 12 kN \leq 試験力 \leq 200 kN]	平成21年7月23日
蛍光X線分析	試験方法規格 JIS G 1256 [試験範囲(単位:%(m/m)) 低合金鋼 0.01 \leq Mn \leq 2.00 0.01 \leq Ni \leq 3.80 0.01 \leq Cr \leq 4.50 0.01 \leq Mo \leq 1.20 ステンレス鋼 0.10 \leq Mn \leq 7.50 0.25 \leq Ni \leq 24.0 8.00 \leq Cr \leq 22.5 0.02 \leq Mo \leq 3.80]	平成21年7月23日

2.3 機器開放

企業の研究開発を支援するため、試験研究機器の開放及び操作技術の認定研修を実施した。

2.3.1 機器開放

企業が利用できる機器は、設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調整機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。機器の総数は、合計 178 機器である(平成 28 年 3 月末現在)。

本所で特に利用件数の多かった機器はシールドルーム電磁波試験測定装置、次いで電波暗室電磁波試験測定装置、電磁波障害対策室電磁波試験測定装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで、冷熱衝撃試験機、熱風循環式乾燥機の順であった。

北部研究所で利用件数の多かった機器は万能材料試験機(300kN)、表面粗さ・輪郭形状測定機、画像測定機、波長分散型蛍光 X 線分析装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、冷熱衝撃試験機、次いで恒温恒湿槽、表面粗さ・輪郭形状測定機、真空凍結乾燥機の順であった。

分類別の利用総額と利用件数及び利用時間は次のとおりであった。指導時間は、開放機器を使用する際の有料による指導の時間数である。

◆本所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	3,032,020	402	2,278	2,414,560	258	617,460
表面観察機器	279,350	176	761	262,130	13	17,220
強度試験機器	670,930	259	812	299,470	190	371,460
精密測定機器	5,913,460	591	2,953	4,063,540	783	1,849,920
測定機器	892,960	488	1,945	649,420	99	243,540
試料調製機器	910,300	70	4,481	878,320	13	31,980
電気・電子測定機器	33,533,130	1,228	4,590	27,993,210	2,257	5,539,920
評価試験機器	7,874,780	223	21,588	7,830,500	18	44,280
分析機器	3,126,800	355	1,140	2,966,900	65	159,900
小計	56,233,730	3,792	40,548	47,358,050	3,696	8,875,680

◆北部研究所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	56,210	73	225	56,210	0	0
表面観察機器	490	4	7	490	0	0
強度試験機器	405,760	162	527	295,060	45	110,700
精密測定器	665,740	151	731	478,780	76	186,960
測定機器	60,970	56	246	38,830	9	22,140
試料調製機器	183,870	13	439	181,410	1	2,460
評価試験機器	2,829,010	80	7,328	2,799,490	12	29,520
分析機器	584,920	144	591	498,820	35	86,100
小計	4,786,970	683	10,094	4,349,090	178	437,880

◆合計

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
本所	56,233,730	3,792	40,548	47,358,050	3,696	8,875,680
北部研究所	4,786,970	683	10,094	4,349,090	178	437,880
合計	61,020,700	4,475	50,642	51,707,140	3,874	9,313,560

(利用総額:利用金額と指導金額の合計)

2.3.2 機器操作技術認定研修

試験研究機器を利用するに当たり、一定の操作技術が必要なものは研修を実施し、認定証を発行した。

研修日数・参加人数(本所)	126日・224人
研修日数・参加人数(北部)	14日・24人

2.4 技術普及業務

2.4.1 SAITEC 研究発表会

平成 26 年度のセンターの研究成果及び様々な技術支援を紹介するとともに、大学等他機関からの研究や支援情報などの発表を加え、新たな技術や支援など幅広い情報提供を行った。

開催日：平成 27 年 10 月 1 日(木)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：114 名

内容：

(1) 研究成果発表 8 テーマ(他都県、大学等からの発表を含む)[内容は 3.4.1 項を参照]

(2) ポスター展示

SAITEC 研究成果紹介 7

SAITEC の事業等紹介 10

他都県の研究成果 5

その他 5

(3) 講演

○テーマ「燃料電池自動車(FCV)の開発」

トヨタ自動車(株) 技術統括部 水素・FC 推進グループ 佐野 誠治 氏

○テーマ「高圧水素用 FRP 複合容器の特性と使用材料の制限」

高圧ガス保安協会 総合研究所 所長 竹花 立美 氏

(4) 3Dものづくり紹介

SAITEC職員による発表 1

国・他県公設試からの発表 3

(5) 施設見学会

参加者 63 名

見学場所 ①電波暗室、走査型電子顕微鏡、三次元測定機 等

②ガスクロマトグラフ質量分析計 X線回折装置 等

③3Dプリンタ X線CT三次元測定機 等

2.4.2 SAITEC 北部研究所研究発表会

食品・バイオ技術などの研究成果を発表するとともに、加工食品の期限表示に関する講演と新規導入機器について紹介した。

開催日：平成 27 年 10 月 16 日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：56 名

内容：加工食品の期限表示に関する講演、SAITEC 研究成果発表及び新規導入機器の紹介

(1) 講演

○テーマ「食品の期限表示の設定について」

一般社団法人日本分析センター 細野真澄 氏

(2) 研究成果の発表 4 テーマ[内容は 3.4.1 項を参照]

(3) 新規導入機器の紹介

(4) 展示等 研究成果パネル、県内産小麦で作ったパンの試食、清酒の試飲

2.5 次世代自動車支援事業の運営支援

次世代自動車に対し県内中小企業の新規参入や既存企業の技術転用を促進するため、(公財)埼玉県産業振興公社が自動車産業部会を組織したが、その中の各研究会等の運営・開催に対し当センターが支援を行った。具体的には、各研究会に対し下記のとおり担当者を決めて活動した。

2.5.1 部会及び各研究会参加企業数

(1) 自動車産業部会

部会	参加企業数	時点
自動車産業部会	134 社	H28.3.31

(2) 自動車産業部会内の各研究会

研究会	参加企業数	時点
モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会	19 社	H28.3.31
軽量化研究会	24 社	H28.3.31
現場力強化研究会	8 社	H28.3.31
車両分解研究会	26 社	H28.3.31

2.5.2 研究会等の名称及び担当者一覧表

研究会等		担当者
窓 口		巻島 秀男、原田 勝利
技術開発領域	モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会	常木 裕己、島崎 景正、本多 春樹、宮崎 智詞
	軽量化研究会	小熊 広之
	車両分解研究会	鮑津 彰、島崎 景正、宮崎 智詞、岩崎 翼
製造技術領域	現場力強化研究会	原田 勝利、本多 春樹

2.5.3 各研究会の概要

(1) モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H27.4.22	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	15	22
H27.7.8	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	15	20
H27.10.9	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	10	15
H28.1.20	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	12	17

(2) 軽量化研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H27.6.3	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	19	22
H27.10.27	第2回研究会	新日鐵住金(株)君津事業所	21	42
H27.12.11	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	15	19
H28.2.4	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	27	37

(4) 現場力強化研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H27.7.3	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	8	18
H27.9.18	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	8	20
H27.12.4	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	8	19
H28.2.19	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	8	26

(5) 車両分解研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H27.7.21～25	フォルクスワーゲン「POLO」分解部品一般公開	埼玉県産業技術総合センター	-	500
H27.11.5～6	発足会／車両分解立会	埼玉自動車大学校	24	延べ 94
H27.11.26	車両技術説明・分解部品展示確認会	埼玉県産業技術総合センター	11	34
H28.3.16	最終報告会	新都心ビジネス交流プラザ	21	28

2.6 技術講習会、講演会の開催

◆本 所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H27.4.7	埼玉県鑄物技術委員会	埼玉県産業技術総合センター	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度埼玉県鑄物技術委員紹介 ・今年度埼玉県鑄物技術委員会の進め方について ・第 51 回埼玉県鑄造技術コンクール開催要綱の決定 ・今年度の埼玉県鑄物技術講演会・鑄物技術講習会のテーマ及び講師の選定 ・その他 	18
H27.4.7	第548回埼玉県鑄物技術講演会	埼玉県産業技術総合センター	「鑄造品の強度の考え方 － 壊れ方と欠陥の有害度 －」 北海道大学 名誉教授 野口 徹 氏	56
H27.5.8	第51回埼玉県鑄造技術コンクール説明会	川口鑄物工業協同組合	開催要綱と審査基準について 埼玉県産業技術総合センター 主任 菊池 和尚 課題の凝固解析について 埼玉県産業技術総合センター 専門研究員 飽津 彰	26
H27.6.3 ～6.5	第236回埼玉県鑄物技術講習会	川口鑄物工業協同組合	全体テーマ「技能検定のための鑄造技術の基礎知識」 6月3日 「Part I」 (一社) 日本鑄造協会 技術顧問 納谷 喜郎 氏 6月4日 「Part II」 ものづくり大学 教授 鈴木 克美 氏 6月5日 「Part III」 (株) 永瀬留十郎工場 技術顧問 永瀬 勇 氏	116
H27.7.8	第549回埼玉県鑄物技術講演会	川口鑄物工業協同組合	「3D プリンターのものづくりへの活用」 －積層造形技術の鑄造への適用－ 国立研究開発法人産業技術総合研究所 研究グループ長 岡根利光 氏	44

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H27.9.2 ～9.4	第237回埼玉県鋳物技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	<p>全体テーマ「3Dデータ活用によるものづくりのための三次元CAD入門」</p> <p>9月2日 「3Dプリンタを活用したものづくり最新事情」 (株)大塚商会 PLM特販課 主任 石塚智英 氏</p> <p>「三次元CAD(SolidWorks)の基礎」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏</p> <p>9月3日 「センターの装置と製作事例紹介」 埼玉県産業技術総合センター 専門員 町田芳明</p> <p>「三次元CADを利用した3Dプリンタ用データの作成演習」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏</p> <p>9月4日 「3Dプリンタの装置紹介と作成演習」 (株)ストラタシス・ジャパン テリトリーマネジャー 森 崇弘氏</p> <p>「3Dプリンタでの作成演習と作製した造形物と三次元データとの比較」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏</p>	47
H27.10.9	品質工学フォーラム埼玉20周年記念講演会	新都心ビジネス交流プラザ	<p>「もの作り革新！金型・切削レスで高精度板金加工を実現～加工時間とコストのブレイクスルーはこうして実現した～」 (株)井ロー世 代表取締役 井ロー世 氏</p>	26
H27.10.14	第550回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	<p>「鋳造用人工砂の特徴と使用例」 花王クエーカー(株) 東部営業所 所 長 中川 武司 氏 (株)田島軽金属 専務取締役 新井 敏次 氏</p>	39
H27.11.19	第51回記念埼玉県鋳造技術コンクール表彰式及び講評会	川口鋳物工業協同組合	<p>講評会講師 鋳物技術委員 張 博 氏 他</p>	70
H27.12.2 ～12.4	第238回埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合	<p>全体テーマ「電気誘導溶解炉の保守管理のための基礎講座」</p> <p>12月2日 「誘導炉の事故事例とその対応及び問題点へのQ&A」 富士制設 代 表 山崎 勝 氏</p> <p>12月4日 「電気誘導溶解炉の保守管理のための知見」 関東ミネラル工業(株) 代表 取締役 福井 清 氏</p> <p>12月5日 「誘導炉用耐火物の基礎とその施工方法について」 日本セラミックス(株) 技術顧問 上井 信夫 氏</p>	90

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H27.12.22	第 8 回ものづくり講演会	埼玉県産業技術 総合センター	「中小企業の経営改革と人材確保・人材 育成」 ダイヤ精機(株) 代表取締役 諏訪 貴子 氏	42
H28.1.21	第 58 回埼玉県めっき技 術競技会表彰式	パレスホテル大宮	講評 関東学院大学名誉教授 山下 嗣人 氏	30
H28.1.28	EMC ノイズ対策講習会 (第1回)	埼玉県産業技術 総合センター	「ノイズ及び対策について講義」 星和電機(株) コンポーネント社 樋口 太郎 氏	5
H28.2.10	第 551 回埼玉県鋳物技 術講演会	川口鋳物工業 協同組合	「GIFA2015にみる最近の海外技術動向」 新東工業(株) 大崎事業所 顧 問 竹内 純一 氏	23
H28.3.2 ～3.3	第 239 回埼玉県鋳物技 術講習会	川口鋳物工業 協同組合	全体テーマ「鋳物産業を取巻く環境問 題のための基礎講座」 3月2日 「環境にやさしい押湯スリーブ及び 保温材について」 明和化学工業(株) 営業部 部 長 藤林 正裕 氏 課 長 益田 信也 氏 3月3日 「鋳物工場における環境対策」 新東工業(株) 環境事業部 リーダ- 岡安 功史 氏	46
H28.3.11	熱処理発表会	埼玉県産業技術 総合センター	「窒素による金属の硬化法」 (株) 日本テクノ 社長 椛澤 均 氏 「磁気測定の基礎」 電子磁気工業(株) 開発部開発課課長 岩田 成弘 氏 「排熱回収による省エネ活動」 (株)オーネックス 生産課課長 尾上 幹浩 氏 「高周波焼入れ部品のロボット導入改 善」 (株) ヨシノハード 技術営業担当常務取締役 押味 直人 氏	30
H28.3.18	EMC ノイズ対策講習会 (第2回)	埼玉県産業技術 総合センター	「世界の接地方式の違いによるノイズと 電気安全への配慮について」 (株)電研精機研究所 ノイズトラブル相談室 室長 平田 源二 氏	55

◆北部研究所（主催事業）

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H27.11.5	第12回埼玉北部地域 技術交流会	ものづくり大学	講演会 ・「ハイールグループにおける弊社の役割」 ～ものづくりの考え方～ ハイールアジア R&D 株式会社 イノベーション創新グループ 松本 雅和 氏 ・「食品工場の衛生管理について」 ～お客様へ安全に届けるために～ 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 食品・バイオ技術担当 富永 達矢 ・企業アピール(自社技術等の紹介) 22 社 ・大学見学ツアー(ものづくり大学) 参加者 15 名 (参考) 出展企業・大学・支援機関等 79ブース	593
H28.3.2	食品セミナー	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	講演 『米粉に関する2つの「り」-「理」屈と「利」 用-』 国立研究開発法人農研機構 食品総合 研究所 食品素材科学研究領域上席研 究員、穀類利用ユニット長 奥西智哉 氏 事業紹介 「埼玉県よろず支援拠点」について (公財)埼玉県産業振興公社 チーフコーディネーター 野口 満 氏	53

◆本 所(支援事業)

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
H27.5.22	埼玉県熱処理技術研究 会総会及び記念講演会	埼玉県産業技術 総合センター	総会、講演会 「国宝 七支刀の復元ー古代ものづくり への挑戦ー」 (地独)東京都立産業技術研究センター 工学博士 佐藤 健二 氏	28
H27.5.27	埼玉県ものづくり研究会 総会・講演会	大宮ソニックシティ	・通常総会 ・講演会 「3Dプリンター技術の現状及び展望」 芝浦工業大学 デザイン工学部 教授 安齋 正博 氏	31
H27.6.5 6.11 6.18 6.25	熱処理技術講習会	埼玉県産業技術 総合センター	熱処理の社員教育 熱処理技術研究会役員、他	延べ65
H27.10.16	実践型熱処理技術講習 会	埼玉県産業技術 総合センター	「技術書を書いて感じたこと」 山方技術士事務所 山方 三郎 氏 「熱処理油の基礎と管理方法」 日本グリース(株) 技術研究所副所長 富田 美浩 氏 「鋼の焼戻しについて」 松野技術士事務所 松野 和正 氏	24

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
H28.1.22	埼玉県熱処理技術研究会見学会	(株) 椿本鋳工	工場見学会 鋳造工場の見学	31
H28.3.2	埼玉県ものづくり研究会 工場見学会	池上金型工業 (株) 大利根事業 所	工場見学 池上金型工業(株) 代表取締役社長 池上 正信 氏	15

◆北部研究所(支援事業)

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H27.9.8	清酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	出品点数 吟醸酒の部 55点(18場) 純米酒の部 27点(17場) 清酒審査講評 関東信越国税局 松丸 克己 氏 齋藤 良 氏 学識経験者 大橋 勝 氏 増田 こずえ 氏 埼玉県産業技術総合センター北部研 究所 主任研究員 横堀 正敏 主任 樋口 誠一	22
H27.11.10	米菓研究会秋の勉強 会	新都心ビジネスプ ラザ	「マイナンバー制度について」 講師 社会保険労務士法人 イチイ 加庭 光子 氏	23
H27.12.15	吟醸酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	パネルディスカッション 「吟醸酒造りの要点」 進行 杜氏会会長 柿沼 和洋 氏 講演 「茨城県の吟醸造りと県内清酒業界への 支援等について」 茨城県工業技術センター 武田 文宣 氏	17
H28.3.23	杜氏酒造研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「吟醸酒の管理と出品について」 埼玉県産業技術総合センター 北部 研究所 主任研究員 横堀 正敏	22

注)米菓研究会、清酒研究会、吟醸酒研究会、杜氏研究会、については、
5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)に再掲。

2.7 培養酵母の頒布

種 別	本 数	金 額(円)
酒類用酵母	1,237 本	618,500
醤油用酵母	6 本	9,000
合計	1,243 本	627,500

3 研究開発

埼玉県産業技術総合センターでは、県内産業の技術力強化を図るため、社会的ニーズや新技術・新製品の開発や生産システム等の課題に対応した研究開発や企業からの依頼による受託研究等を実施し、研究成果の発表や技術相談・指導等を通じて研究成果の技術移転を行った。

また、研究の計画及び終了段階における外部評価委員による研究評価、外部専門家の客員研究員による研究指導等、研究の効果的・効率的推進に努めた。

3.1 研究開発

3.1.1 政策的研究課題

(1) 政策的研究開発事業(産業支援研究)

◆本所

- 高周波誘電加熱を利用した軽量・高強度部材の接合技術の実用化
- 混合溶剤による熱可塑性 CFRP のリサイクル
- 炭素繊維強化熱可塑性プラスチック(CFRTP)の構造部材への適用
- 簡易3次元計測システムの開発施策と実用化～車椅子設計支援に向けて～
- 燃料電池用白金触媒の代替材料の開発
- 環境に優しい安価で高性能な電池の開発
～マグネシウム蓄電池の実用化に係る研究～
- 次世代輸送機器に向けた、軽量繊維強化熱可塑性プラスチックの製造
- 高度集積電子デバイス等に向けたナノ材料用熱特性評価システムの開発

◆北部研究所

- 高温環境下における水蒸気透過度測定技術の開発
- フレーバー評価技術の確立による製品の高付加価値化と品質管理への応用
- ソフトスチーム技術を利用した高機能穀粉の製造技術の開発

(2) 新技術開発推進事業(独創的技術形成研究、技術支援高度化研究)

◆本所

- ナノカーボンを用いたレジオネラ菌の迅速検出技術の開発
- 利用者の活動範囲拡大に伴う車いすの高強度化に向けた基礎技術の検討
- 蠕動運動型移動型ロボットの開発に関する研究
- ナノ粒子製造法
- 測定サンプルの類型化による非接触形状測定の高度化
- IoT プラットフォームの検証環境とモデルサービスの構築

◆北部研究所

- 県産食品の網羅的成分分析と品質管理への利用
- 埼玉県産新品種米「彩のきずな」の酒造適性の検討

(3) 競争的資金による研究開発等

①受託研究

[研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) 実用化挑戦ステージ 実用化挑戦タイプ
中小・ベンチャー開発 (独) 科学技術振興機構(JST)]

- バイオハザード迅速検出システム

[研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)の産学共同促進ステージ
ハイリスク挑戦タイプ(国研) 日本医療研究開発機構]

- 1時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションによる3D手術支援サービスの実用化

②その他の支援

[戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

- 複合乳酸菌発酵法を利用した大豆を原料とする抗ストレス食品素材の開発
- ゲル状めっきシステムの開発

[平成27年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業) 厚生労働省]

○座位保持装置部品の安全性確保基準等の見直しに関する研究

[科学研究費助成事業(基盤C) 日本学術振興会]

○シーティングにおける座位姿勢と臀部せん断応力との関係解明

[公設工業試験研究所等における共同研究補助事業(オートレースの補助金) (公財)JKA]

○普及型超微小硬さ測定機の開発

3.1.2 受託研究

(1) 企業からの受託研究

	件数	金額 (円)
本所	15	3,768,100
北部研究所	14	5,463,200
計	29	9,231,300

(2) 外部競争的資金による受託研究

	件数	契約額 (円)
本所	1	1,001,000
北部研究所	1	1,400,000
計	2	2,401,000

3.1.3 委託研究開発

(1) 目的

産業技術総合センターと委託事業者の相互のスキルアップを目指して、ロボットニーズ研究会のニーズを踏まえ、公益性・公共性、社会的ニーズに合致したロボットを委託開発するものである。

(2) 方法

公募テーマを設定し、提案競技方式により開発テーマを募集した。その後、審査委員会を開催し、その意見に基づき開発テーマを決定した。

①公募概要

- ・公募時期 平成27年8月3日(月)～8月28日(金)
- ・募集内容 ロボットの研究開発に係る提案
- ・研究開発期間 最大3年間(予定)
- ・委託費用(初年度) 上限1,000万円(10/10)×2テーマ程度
- ・初年度の契約期間 契約日(平成27年10月)～平成28年3月

②公募テーマ

公募テーマ	機能例
中小企業の食品工場における省力化ロボット	・異物検出、除去 ・精密計量、選別
感染症の拡大予防ロボット	・嘔吐物処理 ・感染媒体駆除
健康回復支援ロボット	・リハビリテーション ・歩行支援

③応募総数

4件

④審査委員会

- ・審査方法 外部の有識者からなる審査委員会により、審査
- ・開催時期 平成27年9月7日(月)
- ・審査基準及び審査委員(評価は全審査項目について)
 - 技術面 …… (国研)産業技術総合研究所 埼玉大学
 - 事業化面 …… (公財)埼玉りそな産業経済振興財団 (公財)埼玉県産業振興公社
 - 政策面 …… 埼玉県産業労働部副部長 埼玉県産業技術総合センター長

(3) 実施テーマと委託事業者及び契約期間

- ①視聴覚ガイドを用いた手動車いす移乗動作リハビリテーションロボットの開発 (株)埼玉富士
(平成27年10月1日～平成28年3月10日)
- ②脳血管障害等に伴う手指麻痺改善のハンドリハビリテーション装置の開発 (株)コスミックエムイー
(平成27年10月1日～平成28年3月10日)

3.1.4 科学研究費助成事業(科研費)

平成26年10月15日付で科学研究費補助金取扱規程に規定する研究機関に指定された。機関番号は82410である。

(1) 応募

応募時期	研究種目	応募数
平成27年11月	基盤研究(B)	1
〃	基盤研究(C)	3
〃	若手研究(A)	1
〃	若手研究(B)	4
〃	挑戦的萌芽研究	1
平成27年12月	奨励研究	2

3.2 研究開発及び技術支援による実用化・商品化

研究開発及び技術支援によって、企業が技術の実用化をし、または開発したものを商品化した案件は22件である。代表的な例を挙げると、

- (1) 「乳酸菌発酵塩麴」を使ったフルーティな無添加漬物
- (2) 3D スキャナを用いて顧客ごとにカスタマイズした5月人形の製作
- (3) 10分ごはんシリーズで、お茶碗1杯分のお米が炊ける専用炊飯器「Poddi」の製作
- (4) 甘酒豆乳飲料「ゆめみる麴」のパッケージデザイン
- (5) 洗浄作業が不要でメンテナンスが簡単な業務用バルブのスーパーポケットバルブ(SPV)チューブの開発
- (6) 軽くて丈夫なシート素材ソフィレスを活用した「軽量化ゴルフバック」の製作

3.3 客員研究員

外部の専門家・有識者を当所の客員研究員として依頼し、当所が進める各分野の研究に対して助言指導を受けた。

客員研究員	指導分野	指導日数
埼玉工業大学 矢嶋 龍彦 氏	環境・エネルギー	4
東京大学 空閑 重則 氏	先端ものづくり	2
東京電機大学 釜道 紀浩 氏	先端ものづくり	2
名古屋大学 邊 吾一 氏	環境・エネルギー	2
工学院大学 山田 昌治 氏	農林・食品	1
埼玉大学 長谷川 登志夫 氏	農林・食品	2
(株)デザインインテグレート 宮内 博実 氏	農林・食品	2
7名	3分野	15

3.4 研究成果の公表

3.4.1 センター主催の発表

◆本所

SAITEC 研究発表会（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第 13 巻』）

	研究題目	発表者名
H27.10.1	オンサイト型ナノインデンター用 XY ステージの開発	電気・電子技術担当 荻野 重人
	炭素繊維強化熱可塑性プラスチック(CFRTP)の構造部材への適用	機械技術担当 小熊 広之
	大気中における高圧 CO2 含浸樹脂の溶着(受託研究事例)	機械技術担当 山田 岳大
	高周波誘電加熱を利用した軽量・高強度部材の接合技術の実用化	化学技術担当 佐野 勝
	電気化学プロファイルによる水質評価解析システムの開発	化学技術担当 熊谷 知哉
	燃料電池用白金触媒の代替材料の開発	戦略プロジェクト 推進担当 稲本 将史

◆北部研究所

SAITEC 北部研究所研究発表会（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第 13 巻』）

年月日	研究題目	発表者名
H27.10.16	フレーバー評価技術の確立による製品の高付加価値化と品質管理への応用 ～埼玉県産小麦粉について～	食品・バイオ技術担当 成澤 朋之
	フレーバー評価技術の確立による製品の高付加価値化と品質管理への応用 ～清酒について～	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏
	高香気生成酵母の利用性向上に関する研究 ～埼玉 G 酵母と埼玉 E 酵母の混合仕込み～	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏
	微生物試験について	食品・バイオ技術担当 富永 達矢 細井 永次

3.4.2 学会等への発表(国際会議含む)

◆本所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H27.4.19	ポリカーボネートをマトリックス樹脂とした炭素繊維強化複合材料のオゾン酸化処理による強度向上効果	小熊 広之	日本医療・環境オゾン学会 第20回研究講演会	
H27.4.30	鋳造CAEを用いたアルミ基複合材鋳物の品質改善	永井 寛		研究報告 115「人と環境にやさしい鋳造設備技術」
H27.9	Clinical Measurement of Load Pplied on Foot Support to Confirm the Reference Value of the Wheelchair Standard in Poople with Cerebral Palsy	Sathishi Shirogane, Takashi Handa, Yoshihiko Kozai, Yusuke Maeda		8th Asia-Pacific Conference on Biomechanics, pOS3-7
H27.9	痙性による車椅子過負荷に関する研究	香西良彦、佐藤宏惟、半田隆志、前田佑輔、白銀暁		LIFE2015
H27.9.23	Visualization Analysis of Large Elongated Cells Formation Process at Boundary Area between Foamed and Nonfoamed Layers in Microcellular Injection Molding	Yamada Takehiro	The Polymer Processing Society Conference 2015	
H27.9.25	炭素繊維強化ポリカーボネートの表面改質による強度向上	小熊 広之	第40回 複合材料シンポジウム	
H27.10	埼玉県産業技術総合センターにおける、ISO規格およびJIS規格作成に関する取組	半田隆志		医療福祉技術シンポジウム、p27
H27.10	痙性による車椅子過負荷に関する研究 -ヘッドサポートにかかる力の計測-	香西良彦、佐藤宏惟、半田隆志、前田佑輔、白銀暁		医療福祉技術シンポジウム、p21-24
H27.10.25	マイクロ波によるロストワックス鋳型乾燥の効率化	永井 寛	日本鋳造工学会第167回全国講演大会	日本鋳造工学会第167回全国講演大会・講演概要集
H27.11	座位姿勢計測器による車椅子座位計測の検討	木之瀬隆、井筒隆文、亀ヶ谷忠彦、半田隆志		第31回日本義肢装具学会学術大会、P188
H27. 11	車椅子の理想的なインタフェース設計を目指して	半田隆志		日本設計工学会誌 51(2) P75-78
H27.12	深度センサ付きRGBカメラを応用した座位姿勢計測システム開発の試み	白銀暁、半田隆志		第2回日本支援工学理療学会
H27.12.25	連続炭素繊維強化ポリカーボネートの表面改質による力学特性向上	小熊 広之	日本大学生産工学部学術講演会	
H28.3	Influence of Sacral Sitting in a Wheelchair on the Distribution of Contact Pressure on the Buttocks and Back and Shear Force on the Ischial Area of Wheelchair Users	Tadahiko Kamegaya, Takashi Kinose, Takafumi Izutsu, Takashi Handa, Koji Sano		32th International Seating Symposium, p142-145
H28.3.17	炭素繊維強化ポリカーボネートの表面改質による強度向上(第2報)	小熊 広之	第7回 日本複合材料会議	

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H28.3.31	マイクロ波を利用した効率的なロストワックス鋳型乾燥装置開発	永井 寛	日本鋳造工会・第8回鋳造設備研究部会	

◆北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H27.8.29	埼玉県産小麦を使用したうどんの香気特性	成澤 朋之	日本食品科学工学会第62回大会	日本食品科学工学会大会 講演要旨集
H27.12.15	A novel cup with a pressure-adjusting mechanism for high-temperature water vapor transmission rate measurements	Shinya Iizuka Kazuhide Murata Masahiro Sekine Chiaki Sato		Polymer Testing Volume 50, April 2016, Pages 73–78
H28.3.30	国産小麦の麵生地形成時における揮発性成分の変化	成澤 朋之	日本農芸化学会2016年度大会	2016年度大会講演要旨集

3.5 研究課題の評価

3.5.1 事前評価

平成 28 年度の研究計画課題について、課題選定や予算策定の基礎資料とするため、内部委員による内部評価を行った上で、外部専門家を含めた研究評価委員会を開催し、事前評価を行った。

○研究評価委員会

外部委員

(平成 28 年 2 月 24 日開催)

東京電機大学	教授	樫村幸辰氏
(一社)埼玉県中小企業診断協会	会長	高澤彰氏
(公財)埼玉県産業振興公社	よろず支援コーディネータ	野口満氏
埼玉大学	名誉教授	松本幸次氏
(国研)産業技術総合研究所	産業技術指導員	山中忠衛氏

3.5.2 事後評価

平成 26 年度の研究結果について、今後の新しい研究や研究成果の普及の参考とし、さらに効率的研究の推進を図るため、外部委員や内部委員による事後評価を行った。

○研究評価委員会

外部委員

(平成 27 年 5 月 28 日開催)

東京電機大学	教授	樫村幸辰氏
(一社)埼玉県中小企業診断協会	会長	高澤彰氏
(公財)埼玉県産業振興公社	よろず支援コーディネータ	野口満氏
埼玉大学	名誉教授	松本幸次氏
(国研)産業技術総合研究所	産業技術指導員	山中忠衛氏

3.5.3 中間評価

研究の進捗状況を把握し、その進行を適切に管理するために中間ヒヤリングを以下のとおり実施した。
産業支援研究 平成 27 年 10 月 13 日

4 研究開発支援

中小企業の研究開発支援及び産学官連携を推進するため、技術相談や共同研究による企業の支援を行った。また、研究発表会を開催し、SAITEC の研究成果を紹介した。さらに、特許の取得推進とその利用に努めた。

4.1 産学官連携の推進

4.1.1 産学官連携推進について

SAITEC における研究開発について、県内企業等と共同研究を行うなどして連携の推進を図った。外部競争的資金については、連携により継続 2 件、新規 2 件の採択を得た。

平成 26 年度補正予算「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」については、平成 26 年度から 27 年度にかけて公募が 2 回に分けて行われ、応募への相談支援を 164 社に対して行い、53 社が採択された。また、SAITEC 研究発表会の開催や、産業交流展など他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

4.1.2 産学官連携関連展示会(主催事業)

(1) SAITEC 研究発表会

SAITEC の研究成果の展示・発表及び、国・大学等の研究や支援に関する情報提供などを県内企業等に向け行った。

開催日：平成 27 年 10 月 1 日(木)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：114 名

内容：SAITEC 及び他県公設試験研究機関の研究成果発表、ポスター展示、講演、施設見学会

①研究成果発表 8 テーマ[産業支援研究の内容は 3.4.1.参照]

②3Dものづくり事業紹介

SAITEC職員による発表 1

国・他県公設試からの発表 3

③受託研究事業及び新規導入機器の紹介

④講演

テーマ 「燃料電池自動車(FCV)の開発」

トヨタ自動車(株) 技術統括部 水素・FC 推進グループ 佐野 誠治 氏

テーマ 「高圧水素用 FRP 複合容器の特性と使用材料の制限」

高圧ガス保安協会 総合研究所 所長 竹花 立美 氏

⑤施設見学会

⑥展示等

(2) SAITEC 北部研究所研究発表会

食品・バイオ技術などの研究成果を発表するとともに、加工食品の期限表示に関する講演と新規導入機器について紹介した。

開催日：平成 27 年 10 月 16 日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：56 名

内容：加工食品の期限表示に関する講演、SAITEC 研究成果発表及び新規導入機器の紹介

①講演

○テーマ「食品の期限表示の設定について」

一般社団法人日本分析センター 細野真澄 氏

②研究成果の発表 4 テーマ[内容は 3.4.1 項を参照]

③新規導入機器の紹介

④展示等 研究成果パネル、県内産小麦で作ったパンの試食、清酒の試飲

(3) 第 12 回埼玉北部地域技術交流会

49 企業、7 大学、4 金融機関、19 支援機関等が出展し、製品紹介、事業紹介、研究成果の展示及び技術相談会等を開催し、参加者との交流を図った。併せて、先端技術関連の講演会(2 テーマ)を開催した。

開催日：平成 27 年 11 月 5 日(木)

会場：ものづくり大学

講演

テーマ「ハイアールグループにおける弊社の役割」～ものづくりの考え方～

ハイアールアジア R&D(株)
 イノベーション創新グループ 松本 雅和 氏
 テーマ「食品工場の衛生管理について」～お客様へ安全に届けるために～
 埼玉県産業技術総合センター北部研究所
 食品・バイオ技術担当 富永 達矢

企業アピール(自社技術等の紹介)

22 社

大学見学ツアー(ものづくり大学)

参加者 15 名

出 展: 79 企業・団体

参 加 者: 593 名

4.1.3 産学官連携に関連する展示会

平成 27 年度は、主催の展示会のみならず、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。
 平成 27 年度の出展実績は以下のとおりである。

年 月 日	展示会の名称	開催場所	参加人数
H27.6.10	さいしんビジネスフェア 2015	さいたまスーパーアリーナ	206
H27.11.5～6	BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展	大宮ソニックシティ	62
H27.11.18～20	産業交流展 2015	東京国際展示場	217
H28.1.27～28	産学連携フェア 2016 (彩の国ビジネスアリーナ 2016 同時開催)	さいたまスーパーアリーナ	228

4.2 助成制度への取り組み

埼玉県産業技術総合センターでは、県内中小企業の技術的支援機関として、国の重要施策である新規産業創造の実現に向けた「研究・技術開発に対する助成制度」を積極的に活用するための取り組みを行っている。

4.2.1 研究開発型企业支援事業

県内中小企業に対し、国等が実施する助成制度への応募に向けて、大学、(国研)産業技術総合研究所、(国研)理化学研究所、(公財)埼玉県産業振興公社等との連携の基に支援を行った。

結果、外部競争的資金では次の「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金」を除くと、継続2テーマを実施した。平成26年度補正予算「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金」については、平成26年度から平成27年度にかけて公募が2回に分けて行われ、応募への相談支援を164社に対して行い、53社が採択された。(再掲)。

4.2.2 埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)産学共同促進ステージ ハイリスク挑戦タイプ (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	1時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションによる3D手術支援サービスの実用化	(株)レキシー アルスロデザイン(株) NPO 三次元工学会 埼玉医科大学 日産玉川病院
研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)実用化挑戦ステージ 実用化挑戦タイプ 中小・ベンチャー開発 (独)科学技術振興機構)	バイオハザード迅速検出システム	フルイドウェアテクノロジー(株) (国研)産業技術総合研究所 警察庁科学警察研究所 静岡県立大学(薬学部) 岐阜大学(医学部) 名古屋大学(医学部)

4.2.3 次世代型ものづくり製品開発支援事業

次世代産業分野(省エネルギー・新エネルギー関連産業分野、健康・医療・福祉関連産業分野、先端ものづくり関連産業分野、新規創出関連産業分野)に進出するため先進的な取り組みを行おうとする企業等に対し、製品開発プロデューサーの一元的な管理の下で当センターのシーズと専門アドバイザーなどを活用することにより、新製品の試作開発から販路開拓までを一貫して支援した。

(1)支援の概要:

①製品開発プロデューサーによる支援

民間企業等において新製品開発の経験や指導の経験を有する者を、製品開発プロデューサーとして各企業に配置し、試作開発から販路開拓に係る支援を実施した。

②専門アドバイザーによる支援

製品開発プロデューサーの一元的な管理のもと、特に専門性が高い技術等について専門家を活用した。

③試作支援

当センターの所有する設備および保有する技術などを活用し、製品開発の迅速化・高度化・高精度化を支援した。

(2)支援状況

支援企業数 9社

・内訳:

健康・医療・福祉関連産業分野	3社
先端ものづくり関連産業分野	2社
新規創出関連産業分野	4社

4.3 特許の取得推進とその活用

4.3.1 産業財産権の一覧

(1) 特許権

平成 27 年度は新たに2件の特許出願があった。

下表はセンターが所有する特許全 40 件(未公開 3 件含む)のうち、登録又は出願公開されたものである。なお、センターでは産業財産権のうち特許以外の出願及び権利の所有はない。

番号	名称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	成形鏡面研削装置	H10.2.26 特願平 10-045434	H11.9.7 特開平 11-239969	H20.4.4 4104199	永井 寛 野口 清隆 新井 尚機 戸枝 保 出口 貴久 進藤 久宜 小熊 広之	(独)理化学研究所 共同
2	チタン系金属製品の製造方法及びチタン系金属製品	H14.6.17 特願 2002-176243	H16.1.22 特開 2004-18954	H22.8.20 4570315	出口 貴久	(株)アクトメント 共同
3	超磁歪素子の伸縮制御装置	H14.12.4 特願 2002-352179	H16.7.2 特開 2004-187419	H20.3.28 4102655	荻野 重人 宇野 彰一	
4	発酵風味菓子の製造方法	H15.6.6 特願 2003-162045	H16.12.24 特開 2004-357631	H20.9.19 4188146	井上 和春	みたけ食品工業(株)、(株) 愛工舎製作所 共同
5	粘弾性測定装置および粘弾性測定方法	H15.10.31 特願 2003-372299	H17.5.26 特開 2005-134295	H21.4.21 4299100	關根 正裕 荻野 重人	(有)サズコーポレ ーション 共同
6	漬床及びこれを用いた漬物の製造方法	H16.3.30 特願 2004-098398	H17.10.13 特開 2005-278531	H20.10.24 4205006	井上 和春 大澤 千恵子	みたけ食品工業(株)、 (株)愛工舎製作所、東洋 大学 共同
7	大腸菌群の汚染源特定方法及びその検出に使用する大腸菌群検出用培地セット	H17.8.8 特願 2005-229680	H19.2.22 特開 2007-43921	H23.7.29 4789540	富永 達矢 關根 正裕	
8	超微小硬さ等測定装置および測定方法	H17.11.18 特願 2005-334061	H19.6.7 特開 2007-139592	H21.9.18 4376858	荻野 重人	
9	ドリルのシンニング装置及びシンニング形成方法	H18.2.3 特願 2006-27551	H19.8.16 特開 2007-203427	H23.12.16 4882103	南部 洋平 落合 一裕	日本ノズル精機 (株) 共同
10	センサー機能付アクチュエータ装置および粘弾性測定装置	H18.7.20 特願 2006-198697	H20.2.7 特開 2008-29111	H25.2.8 5190606	關根 正裕	(有)サズコーポレ ーション、(有)カトランスフォー マ、共同
11	身体傾斜角計測器および身体ねじれ角計測器	H19.5.29 特願 2007-141889	H20.12.11 特開 2008-295527	H23.12.16 4885795	半田 隆志	他 2 名 共同
12	樹脂構造物の製造方法	H19.3.23 特願 2007-76552	H20.10.2 特開 2008-231355	H25.3.1 5205636	山田 岳大	
13	細菌による汚染の汚染源特定方法	H20.4.28 特願 2007-117212	H21.11.12 特開 2009-261363	H25.7.12 5310997	富永 達矢 關根 正裕	
14	動的粘弾性測定装置	H21.6.1 特願 2009-131935	H22.2.4 特開 2010-25923	H25.8.2 5327532	山田 岳大 關根 正裕	
15	加熱調理装置	H22.3.12 特願 2010-516841	H21.12.7 PCT/JP2009/60429	H24.11.9 5130363	關根 正裕 樋口 誠一 高橋 学 常見 崇史	(株)T.M.L、学校法 人早稲田大学 共 同
16	振動生成装置、動的粘弾性測定装置、および、動的粘弾性測定方法	H20.8.22 特願 2008-214580	H22.3.4 特開 2010-48722	H25.4.5 5233044	關根 正裕	(株)GMタイセー 共同
17	変位拡大装置	H20.9.8 特願 2008-229737	H22.3.25 特開 2010-68549	H25.5.2 5256414	荻野 重人	

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
18	品質評価装置	H20.10.27 特願 2008-275700	H22.5.6 特開 2010-101839	H25.6.7 5282231	關根 正裕 栗原 英紀 富永 達矢	(株)真韻 共同
19	ドレッシング及びその製造方法	H20.12.26 特願 2008-331697	H22.7.8 特開 2010-148468	H25.11.15 5407035	井上 和春	みたけ食品工業 (株)、東洋大学、 (株)愛工舎製作所 共同
20	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-110173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同
21	正極活物質、マグネシウム二次電池および正極活物質の製造方法	H21.11.17 特願 2009-261903	H23.6.2 特開 2011-108478	H26.3.20 5499281	栗原 英紀 斉田 吉裕 稲本 将史	
22	加熱調理装置、および、加熱調理方法	H22.3.12 特願 2012-504256	H23.9.15 WO/2011/111231	H25.10.18 5386701	關根 正裕	(株)T.M.L、(株)新 井機械製作所 共 同
23	バーチャルウエスタンブロットティングシステム	H22.4.28 特願 2012-512589	H23.11.3 WO/2011/135701	H27.1.30 5685777	關根 正裕	(株)エヌビー健康研 究所 共同
24	品質保持剤およびその用途	H22.7.2 特願 2010-151674	H24.1.19 特開 2010-10658	H26.10.24 5633675	小島登貴子 樋口 誠一 仲島日出男	
25	マグネシウム二次電池用の電解液、マグネシウム二次電池および電解液の製造方法	H23.1.17 特願 2011-7251	H24.8.9 特開 2012-150924	H26.9.26 5617131	栗原 英紀 稲本 将史	
26	切削加工装置、振動条件提示装置及びその方法	H23.3.9 特願 2011-52238	H24.10.4 特開 2012-187656	H27.3.27 5716955	南部 洋平 落合 一裕	
27	米飯製造方法及び米飯製造装置	H24.1.29 特願 2012-009321	H25.8.1 特開 2013-146224		關根 正裕	(株)T.M.L、早稲田 大学 共同
28	接着剤及びその接着剤を使用した樹脂接合方法	H24.2.17 特願 2012-032540	H25.8.29 特開 2013-166904		關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
29	関節置換術用ナビゲーション装置、そのプログラム、手術支援装置	H24.8.10 特願 2012-178914	H26.2.27 特開 2014-36700		半田 隆志	アルスロデザイン (株)、(株)レキシ- 埼玉医科大学 共 同
30	接着剤及び樹脂接合方法	H24.8.17 特願 2012-180727	H26.2.27 特開 2014-37489		關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
31	振動波形発生装置、振動付加装置、振動加工装置	H24.9.5 特願 2012-195109	H26.3.20 特開 2014-50897		南部 洋平 落合 一裕	
32	固体樹脂の接合方法	H24.11.22 特願 2012-256570	H26.6.20 特開 2014-105215		山田 岳大	前澤化成工業 (株) 共同
33	角度計測システム及びプログラム	H24.12.6 特願 2012-267211	H26.6.28 特開 2014-113197		半田 隆志	アルスロデザイン (株)、(株)レキシ- 共同
34	吸熱マット、保護カバー	H24.12.11 特願 2012-270444	H26.6.26 特開 2014-115855		關根 正裕	市原清二 共 同

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
35	燃料用電池用触媒及びカソード	H25.2.28 特願 2013-39566	H26.9.11 特開 2014-167876		栗原 英紀 稲本 将史	
36	アクチュエータ	H25.3.27 特願 2013-66299	H26.10.6 特開 2014-193015		荻野 重人	
37	位置決め機構	H26.1.31 特願 2014-17257	H27.8.6 特開 2015-143783		荻野 重人	

4.3.2 実施許諾

平成 27 年度は計 6 件の実施許諾契約を締結し、実施許諾先企業数は合計 17 社(使用特許等数は 25 件)となった。

5 交流

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、他の鉱工業公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、審査会、各種会議等に職員を派遣した。

5.1 異業種交流支援事業

5.1.1 産学官交流プラザ

埼玉県技術交流プラザ終了企業を中心として発足し、技術及び経営等に関する情報交換、大学・企業等との交流、研修会及び講演会等の産学官交流を行った。総会・例会・研修会・役員会の開催は合計8回であった。主な活動実績は次のとおりである。

会 長：岩崎 一隆((株)岩崎食品工業 代表取締役社長)

会員数：30社

年月日	開催場所	内 容
H27.4.9	埼玉県産業技術総合センター	役員会 年度計画と総会準備
H27.5.29	埼玉県産業技術総合センター	第1回例会 役員会 総会 講演会 講師：埼玉県産業技術総合センター 中村雅範センター長
H27.7.9	永井機械铸造(株)	第2回例会 役員会 永井機械铸造(株) 工場見学 意見交換会
H27.10.8～9	福井鋳螺(株)	第3回例会 福井鋳螺(株) 工場見学
H28.3.18	大宮ソニックシティ	第4回例会 役員会 講演会 補助金申請のノウハウについて 講師 会員及び埼玉県産業技術総合センター担当職員

5.1.2 埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼北ネット)

北部研究所強化事業の一環として、県北地域の中小企業経営者を中心に平成20年度に発足した異業種グループで、活動実績は次のとおりである。

代表幹事：田端 克雄 (㈲フィールド・サイド代表)

会 員 数：7名

年月日	開催場所	内 容
H27.4.23	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第1回例会 ・情報提供：「桐生織物について」
H27.5.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第2回例会 ・情報提供：①ちょこたび報告 ②小川伝統工芸館報告
H27.6.18	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第3回例会 ・講演「漬物の歴史」
H27.7.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第4回例会 ・情報提供：世界遺産認定と和食検定
H27.9.3	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第5回例会 ・情報提供：①電気自動車の動向 ②デザイナーの選定について
H27.10.2	東京国際フォーラム	◇第6回例会 ・「江戸・TOKYO 技とテクノの融合展」視察
H27.10.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第7回例会 ・北部研究所研究発表会参加
H27.11.5	ものづくり大学	◇第8回例会 ・第12回埼玉北部地域技術交流会参加
H27.12.10	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第9回例会 ・情報提供：①テレ玉出演報告 ②蕨山反射炉について
H28.1.28	さいたまスーパーアリーナ	◇第10回例会 ・彩の国ビジネスアリーナ2016視察
H28.2.18	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第11回例会 ・情報提供：木村铸造所視察報告
H28.3.2	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第12回例会 ・食品セミナー参加

5.1.3 埼玉食品テクノプラザ

技術講演会への参加、交流会への出展並びに先進企業の視察等、交流活動を実施した。

代表幹事： 吉野 彰 (㈱マコト)

会員数： 15名

年月日	開催場所	内容
H27.5.22	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会
H27.7.23	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇総会 ・平成26年度事業報告 平成26年度決算報告 ・平成27年度事業計画 平成27年度予算
H27.9.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇講習会：「マイナンバー制度について」
H27.10.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇北部研究所研究発表会 ・講演：「食品の期限表示の設定について」 ・研究成果発表 ・新規導入機器の紹介
H27.10.21 ~ 22	石川県金沢地方	◇県外視察(金沢) ・金沢菓子木型美術館、永平寺、ヤマト糰パーク他
H27.11.5	ものづくり大学	◇第12回埼玉北部地域技術交流会 ・食テック紹介及びメンバー企業の製品展示
H27.12.3	川越・秩父	◇県内視察 ・小江戸川越商店街・秩父
H28.3.2	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇食品セミナー：『米粉に関する2つの「り」…「理」屈と「利」用…』
H28.3.24	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇臨時役員会

5.1.4 さきたま利根テクノプラザ(STTEP)

会員が抱える開発、技術関連及び経営等の課題について、情報や意見の交換等を行い、中小企業の発展及び技術の向上や、技術交流及び経営交流の促進を目的とする。本グループの事務局は北部研究所が担当しており、会員は12企業である。

代表： 小菅 一憲 (東洋パーツ(株) 会長)

参加企業： 12企業

年月日	開催場所	内容
H27.4.22	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H27.5.29 ~30	湯河原	研修旅行
H27.6.22	熊谷市農業活性化センター	情報交換
H27.7.27	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H27.9.18	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H27.10.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H27.11.19	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H27.12.15	熊谷市、池端	情報交換
H28.2.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H28.3.11	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換

5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)

各種研究会、交流会を支援するため、各会事務局を担当した。

5.2.1 鋳物技術委員会

本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として当センターの業務に有効・適切な助言と指導を受けるため、委員会を開催した。主な検討事項は鋳造技術コンクールに関する助言、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等である。なお、委員会は、県依頼の委員3名、業界依頼の委員4名及び川口市職員1名、県職員2名の10名の委員にオブザーバー2名の合計12名で構成する。

平成27年度は1回開催され、出席者は18名であった。

(役員)	委員長	(有)張技術事務所	工博 張 博 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	材料技術担当
		川口鋳物工業協同組合	総務課

5.2.2 埼玉県ものづくり研究会

本研究会は、ものづくりのコア技術並びに関連技術の普及、向上に寄与することを目的に、平成19年7月に埼玉県NC工作機械研究会と埼玉県金型研究会を発展的に統合し設立され、講演会、講習会の開催、加工・組み立て技術に関する研究開発、技術者の養成等を主な事業としている。平成27年度は、講演会2回、工場見学会1回を開催し、参加者は、延べ88名であった。

(会員数) 正会員41社、賛助会員4社

(役員)	会長	(株)田口型範	田口 順 氏
		副会長	(株)ユニテックギア 斉藤 正洋 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	機械技術担当

5.2.3 埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術を向上するため、昭和44年6月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

平成27年度は講演会を2回、講習会を2回、見学会を1回開催し、参加者は延べ174名であった。

(会員数) 62社

(役員)	会長	松野技術士事務所	松野 和正 氏
		副会長	(株)椿本チエイン 吉澤 英明 氏
		”	(有)中村熱処理工業所 中村 賢一 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	材料技術担当

5.2.4 品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉)

品質工学は、量産現場における工程管理だけでなく、製品開発や技術開発を効率よく行う工学的手段である。本研究会は、全国組織である品質工学会の埼玉県内在勤・在住の会員を中心に品質工学の普及・発展を図るために設立し、会場の提供や研究会の運営について当センターが支援している。月に一度の定例会と年に数回講演会を行っている。

(会員数) 36名

(役員)	代表	(株)アルビオン	深澤 宏 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	材料技術担当

5.2.5 埼玉県米菓研究会

会員の技術の向上並びに会員相互の親睦を図るため、研究会を開催した。平成27年度は定例会を3回開催し、参加者は延べ55名であった。

(会員数) 30社(正会員25、賛助会員5)

(役員)	会長	(株)折原米菓工場	折原 一嘉 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター北部研究所	食品・バイオ技術担当

5.2.6 清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために研究会を開催した。

(会員数) 35社

(事務局)		埼玉県産業技術総合センター北部研究所	食品・バイオ技術担当
-------	--	--------------------	------------

(1) 清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために、
出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る
実施日：平成 27 年 9 月 8 日
出品点数：吟醸酒の部 55 点(18 場)
純米の部 27 点(17 場)
参加者：22 名(杜氏、酒造担当者)

(2) 吟醸酒研究会

平成 26 酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。
実施日：平成 27 年 12 月 15 日
参加者：17 名(杜氏、酒造担当者)
パネルディスカッション：「吟醸酒づくりの要点」
パネリスト (株)文楽 村上 杜氏
(株)藤崎惣兵衛商店 伊藤 杜氏
横田酒造(株) 高橋 杜氏
寒梅酒造(株) 鈴木 杜氏
講演：「茨城県の吟醸造りと県内清酒業界への支援等について」
講師：茨城県工業技術センター 武田文宣 氏

(3) 杜氏酒造研究会

清酒製造について本酒造年度における問題点を提起し、今後の酒造管理に反映させる。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。
実施日：平成 28 年 3 月 23 日
参加者：22 名 (杜氏、酒造担当者)
講演：「吟醸酒の管理と出品について」
講師：埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 主任研究員 横堀 正敏

5.2.7 埼玉県ロボットニーズ研究会

開発意欲のある作り手と導入ニーズのある使い手が一緒に、ユーザーニーズのあるロボットづくりの企画に取り組む研究会を設置した。

平成 27 年度は定例会を 3 回開催し、参加者は延べ 102 名であった。
(会員数) 105 社・機関
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 電気・電子担当

(1) 第 4 回埼玉ロボットニーズ研究会

実施日：平成 27 年 4 月 24 日(金)
会場：新都心ビジネス交流プラザ 4階 会議室

①講演

- ・テーマ『ロボットニーズの見つけ方について』
- ・講師 経済産業省 田中 幸仁 氏

②参加企業による自社紹介

③埼玉県からの情報提供

- ・埼玉県産業技術総合センターの研究開発委託について
- ・ロボット関連補助金について

④分科会活動及び分科会意見交換

(2) 第 5 回埼玉ロボットニーズ研究会

実施日：平成 27 年 7 月 24 日(金)
会場：新都心ビジネス交流プラザ 4階 会議室

- ・各分科会の活動報告
- ・各分科会意見交換
- ・補助金説明等

(3) 第 6 回埼玉ロボットニーズ研究会

実施日：平成27年10月19日(月)
会場：新都心ビジネス交流プラザ 4階 会議室
・各分科会の活動予定報告

5.3 首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】

首都圏の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

5.3.1 首都圏公設試連携推進会議の開催 3回(第49回～第51回)

- (1)平成27年6月16日(火) 横浜市工業技術支援センター
- (2)平成27年8月28日(金) 埼玉県産業技術総合センター
- (3)平成27年11月6日(金) ちば仕事プラザ

5.3.2 首都圏公設試連携推進会議(TKFフォーラム)の開催(第8回)

平成28年1月29日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター

5.3.3 研究発表者相互派遣事業

(1) 発表者派遣

① (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会への参加

平成27年6月25日(木)

- ・技術支援室 機械技術担当 主任研究員 小熊 広之
「ポリカーボネートをマトリックス樹脂とした炭素繊維強化複合材料の力学特性向上」
- ・技術支援室 機械技術担当 主任 落合 一裕
「医療用穿刺針の高品質化に関する研究」

② 千葉県産業支援技術研究所研究発表会への参加

平成27年7月29日(水)

- ・北部研究所 技術・事業化支援室 室長 小島 登貴子
「県内産小麦を用いた特色のある麺用小麦粉の開発」

③ 神奈川県産業技術センター研究発表会への参加

平成27年10月28日(水)

- ・技術支援室 化学技術担当 専門研究員 佐野 勝
「高周波誘電加熱を利用した難接着樹脂材料の接合」

平成27年10月29日(木)

- ・技術支援室 化学技術担当 専門研究員 熊谷 知哉
「電気化学プロファイルによる水質評価解析システムの開発」

(2) 評価委員派遣

① (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会への派遣

平成27年6月25日(木)

技術支援室 機械技術担当 主任 山田 岳大

平成27年6月25日(木)

技術支援室 電気・電子技術担当 専門研究員 鈴木 浩之

(3) 発表者受け入れ(SAITEC 研究発表会)

① 川口会場(本所):平成27年10月1日(木)

東京都 1名

神奈川県 1名

千葉県 1名

5.3.4 産業交流展2015への参加

(1) 期日:平成27年11月18日(水)～11月20日(金)

(2) 場所:東京国際展示場

5.3.5 パートナー・グループ事業

(1) 微細加工分科会の実施

年月日	場所	参加者
H28.1.21	埼玉県産業技術総合センター	機械技術担当 出口 貴久 落合 一裕

(2) バイオ技術パートナーグループの実施

年月日	場所	参加者
H27.6.12	(地独) 東京都立産業技術研究センター 墨田支所	食品・バイオ技術担当 細井 永次 成澤 朋之

5.3.6 TKFミニインターンシップ事業

(1) 研究者派遣

派遣元	派遣先	期間・人日	内容
機械技術担当 小熊広之	東京都立産業技術研究センター	H27.4.7～H27.12.1 7人日	プラズマ酸化処理
機械技術担当 落合一裕、佐藤宏惟	東京都立産業技術研究センター	H27.7.21～H27.11.30 5人日	振動試験機
戦略プロジェクト推進担当 稲本将史	神奈川県産業技術センター	H28.1.27 1人日	燃料電池評価試験
北部研究所 材料・機械技術担当 鳥羽遼子	東京都立産業技術研究センター城南支所	H27.7.8～H27.7.10 H27.7.14、4人日	歯車形状測定
電気・電子技術担当 杉山和樹	東京都立産業技術研究センター	H27.7.9～H27.7.10 2人日	高速通信試験

(2) 研究者受入

派遣元	派遣先	期間	内容
群馬県立群馬産業技術センター(7名)	機械技術担当 山田岳大	H27.10.19、H28.3.15 14人日	微細発砲成形技術
山梨県工業技術センター	北部研究所 食品・バイオ技術担当 成澤朋之	H27.7.2～H27.7.3 2人日	小麦の物性評価
山梨県工業技術センター	機械技術担当 宇野彰一	H27.6.4～H27.6.5 2人日	X線CT測定

5.3.7 広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)

首都圏の公設試が連携して実施する中小企業の海外展開支援サービスで、国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験について技術的な支援を実施するもので、平成24年10月24日(地独)東京都立産業技術研究センター内に開所し、平成27年度は以下の事業を行った。

- (1) 県内企業の利用実績 402件(平成27年度) [機器利用・依頼試験を含む]
うち、専門相談員による相談指導 9件
- (2) 事務局会議
 - ・平成27年6月16日(火) 横浜市工業技術支援センター
 - ・平成27年8月28日(金) 埼玉県産業技術総合センター
 - ・平成27年11月6日(金) ちば仕事プラザ
 - ・平成28年1月29日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター
- (3) MTEP 専門相談員連絡会
 - ・平成27年7月10日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター
- (4) MTEP 3周年記念事業
 - ・平成27年10月23日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター
- (5) 海外展開支援製品化事例集の発行 平成27年6月
- (6) セミナー
 - ・平成28年2月4日(木) CE マーケティング講座「欧州安全規格体系とCE マーケティング」

5.3.8 平成 26 年度経済産業省補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」(関東地域)

関東圏で公設試連携体を構成している 5 公設試と関西圏で公設試連携している 2 公設試の 7 公設試が広域連携することにより、これまで個別に国際戦略特区などで実施していた医療機器産業支援を包括的かつ効果的に実施できる体制を整備し、公設試単独では対応が困難であった高度医療機器の開発支援や海外への製品輸出支援を連携して実施した。

高度医療機器開発を支援するための高精度分析・評価機器について、各地域の特性や地域ものづくり企業の支援ニーズをもとに選定した設備機器を導入するとともに、地域ブロックを超えた公設試間において相互利用が可能な体制を構築し、地域ものづくり企業等の研究開発を支援した。

(1) 事業推進会議の開催

- ・平成 27 年 6 月 16 日(火) 第 1 回 横浜市工業技術支援センター
- ・平成 27 年 11 月 18 日(水) 第 2 回 (地独) 東京都立産業技術研究センター

(2) 1都10県2市による機器検索システムの構築

首都圏公設試験研究機関連携体(TKF) ホームページ内の設備検索ページに、広域首都圏のみならず大阪府・大阪市の保有する試験研究機器についても、利用者が目的に応じて効率的に検索し利活用できるよう整備した。

(2) 利用普及のPR活動

- ・平成 27 年 11 月 18 日(火)～20 日(金) 産業交流展2015
内容： 事業内容や各機関の機器の紹介パネルの展示
会場： 東京国際展示場
- ・平成 27 年 12 月 1 日(水) 合同発表会
内容： 事業内容や各機関の機器の紹介パネルの展示
会場： 大阪産業創造館
- ・平成 27 年 12 月 1 日(水) 機器利用説明会
内容： 機器の説明や実機の見学
会場： 埼玉県産業技術総合センター 4 階 会議室

にて、導入機器やその利活用を紹介した。

その他として、ホームページへの掲載、メールマガジンの配信及びチラシの配布などを行った。

(3) 導入機器

- ・蛍光 X 線微小部分分析計 (株)日立ハイテクサイエンス EA6000VX

5.4 RINGS NET (新潟、群馬、埼玉 3 県公設試連携)

新潟県、群馬県及び埼玉県の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することを目的に設立し、下記の事業を行った。

5.4.1 担当分野別交流会等の開催

(1) 上信越公設研ネット機関長・企画担当者会議

年月日	場所	参加者
H27.11.12	長野県工業技術総合センター	企画・総務室 副室長 細野 光広

(2) 中堅・若手技術職員交流会

年月日	場所	参加者
H27.11.12	長野県工業技術総合センター	企画・総務室 副室長 細野 光広

5.5 講演会等講師派遣

◆本所

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
H27.6.13	シーティング評価手法セミナー	国立障害者リハビリテーションセンター	ISO16840-1に準拠した座位姿勢計測	半田隆志
H27.6.13	シーティング評価手法セミナー	国立障害者リハビリテーションセンター	姿勢計測ソフト rysis による姿勢計測の実際	半田隆志
H27.7.13	平成27年度 第1回解体性接着技術研究会	東京電機大学	主催者: 解体性接着技術研究会 内容: 「誘電セラミックス含有熱可塑性接着層による難接着樹脂の高周波誘電加熱接合」について	佐野 勝
H27.10.22	介護・福祉機器分野 中堅・中小企業育成・強化セミナー@東北	TKP仙台カンファレンスセンター	埼玉県産業技術総合センターの介護・福祉機器開発の取組み	半田隆志
H27.11.12	第16回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	主催: 日本鋳造工学会 内容: 講義Ⅲ-非破壊検査総論	永井 寛
H27.11.13	第16回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	主催: 日本鋳造工学会 内容: 実習Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ	永井 寛
H27.12.10	H27 年度鋳造カレッジ・関東地区インターンシップ	ものづくり大学	主催: 日本鋳造協会 内容: 非破壊試験2 「X線透過試験法及びX線CT法」	永井 寛
H27.12.10	H27 年度鋳造カレッジ・関東地区インターンシップ	ものづくり大学	主催: 日本鋳造協会 内容: 非破壊試験4 「超音波探傷試験法」	永井 寛 飽津 彰
H28.2.4	断面形状測定研究会	長野県工業技術総合センター 精密・電子部門	主催者: 長野県工業技術総合センター 「X線CTによる寸法形状評価とものづくりへの活用」	宇野 彰一
H28.2.26	自動車産業革新技術セミナーinさいたま	新都心ビジネス交流プラザ	主催者: 日本自動車部品工業会	小熊 広之
H28.3.11	平成27年度静岡県工業技術研究所研究発表会	グランシップ(静岡県)	埼玉県産業技術総合センターにおける医療・福祉分野の研究開発	半田隆志

◆北部研究所

年月日	名称	会場	内容	講師
H27.4.6～30	彩の国酒造り学校	産業技術総合センター北部研究所	酒造実習	横堀 正敏
H27.5.20、27	彩の国酒造り学校	産業技術総合センター北部研究所	微生物実習	横堀 正敏
H27.7.8	彩の国酒造り学校	産業技術総合センター北部研究所	きき酒及び分析実習	横堀 正敏
H27.8.7	本庄市市民総合大学 ジュニアコース	本庄市市民活動交流センター	本庄市・牛乳を使った実験	小島登貴子
H27.10.1	農産物加工・販売研究	農業大学校	農産物加工の実例	小島登貴子
H27.10.8	埼玉 35 酒蔵大試飲会	大宮ソニックシティ	酒造技術ブース出展	横堀 正敏 樋口 誠一
H27.11.26	平成26酒造年度酒造講話会	産業技術総合センター北部研究所	話題提供	横堀 正敏

5.6 審査会等への派遣

◆本所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H27.5.17	ISO/TC173、ISO/TC173/SC1、ISO/TC173/SC1/WG1、ISO/TC173/SC1/WG11	Denmark	Takashi Handa
H27.7.1	平成27年度技能検定(鉄鋳物鋳造作業)審査会	埼玉県産業技術総合センター	菊池 和尚
H27.7.31	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構助成金審査(外部専門家)	(国研)開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	半田 隆志
H27.10.4	ISO/TC173/SC1/WG1、ISO/TC173/SC1/WG11	国立障害者リハビリテーションセンター	半田 隆志
H27.10.14	第51回埼玉県鋳造技術コンクール審査会	埼玉県産業技術総合センター	高橋 利男
H27.10.25	電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループヒューマンコミュニケーション審査委員会	山口県他	半田 隆志
H27.10.29	第4回鋳造技術コンクール(軽合金)審査会	川口鋳物工業協同組合	高橋 利男
H27.11.6	平成27年度社会ニーズ(安全・安心)・国際幹事等輩出分野に係る国際標準化活動(テーマ名:福祉用具(全身床ずれ防止用具等)に関する国際標準化)「ISO/TC173国内検討委員会」	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
H27.12.3	ライフサポート学会評議員会	芝浦工業大学他	半田 隆志
H27.12.3	ライフサポート学会編集委員会	芝浦工業大学他	半田 隆志
H27.12.8	電子情報通信学会福祉情報工学研究会専門委員会	(国研)産業技術総合研究所他	半田 隆志
H27.12.8	第82回電子情報通信学会福祉情報工学研究会「空間支援(1)セッション」座長	(国研)産業技術総合研究所	半田 隆志
H28.1.21	経済産業省「標準化委託事業」安全・安心な社会形成等に資するJIS開発再委託事業「JIS T9203(電動車いす)改正に関するJIS開発委員会」	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
H28.1.29	平成27年度社会ニーズ(安全・安心)・国際幹事等輩出分野に係る国際標準化活動(テーマ名:福祉用具(全身床ずれ防止用具等)に関する国際標準化)「座位変換形車いす国際標準分科会」	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H28.2.4	ロボット介護機器開発・導入促進事業(基準策定・評価事業)「ロボット介護機器標準化委員会」	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
H28.2.4	ロボット介護機器開発・導入促進事業(基準策定・評価事業)「ロボット介護機器通則分科会」	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志

◆北部研究所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H27.5.29	熊谷捺染組合第50回捺染作品競技会	熊谷市立商工会館	中島 規之 高橋 広子
H27.6.17	埼玉県酒造組合秩父支部初呑切会	秩父地域地場産業振興センター	横堀 正敏
H27.6.24	埼玉県酒造組合西部ブロック初呑切	小川町民会館	横堀 正敏
H27.7.23	埼玉県酒造組合行田・熊谷支部初呑切会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	横堀 正敏 樋口 誠一
H27.7.28	藤崎惣兵衛商店初呑切及び市販酒の出荷管理研究会	(株)藤崎惣兵衛商店	横堀 正敏
H27.8. 5	「ものづくりコンテスト化学分析部門」埼玉大会	埼玉県立久喜工業高等学校	飯塚 真也 鈴木 理博
H27.9.15	第50回栃木県清酒鑑評会	栃木県産業技術センター	横堀 正敏
H27.9.16	茨城県清酒鑑評会2015	茨城県工業技術センター	横堀 正敏
H27.10. 5	全国きき酒選手権埼玉県大会	大宮ソニックシティ	横堀 正敏 樋口 誠一
H27.10. 6～7	第86回関東信越国税局酒類鑑評会 一審	関東信越国税局	横堀 正敏
H27.10.14	第86回関東信越国税局酒類鑑評会 二審	関東信越国税局	横堀 正敏
H28.1.13	埼玉県ふるさと認証食品「みそ」官能審査	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	横堀 正敏 成澤 朋之
H28.1.18、22	技能検定実技試験(パン製造)	(株)ベーカリーシステム研究所	富永 達矢 成澤 朋之
H28.2.10	技能検定実技試験(酒造)	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
H28.2.14	技能検定実技試験(酒造)	滝澤酒造(株)	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
H28.2.16～17	関東信越国税局市販酒類調査品質評価	関東信越国税局	横堀 正敏
H28.2.24	平成27年度食品関係調査研究評価委員会	さいたま新都心合同庁舎検査棟	小島登貴子
H28.3.15	埼玉県酒造組合新酒持ち寄り研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
H28.3.25	平成27年度茨城県吟醸酒出品研究会	茨城県工業技術センター	

5.7 技術評価

新製品開発等の補助金、表彰等に応募した企業の提案課題について技術評価を実施した。

事業名	依頼元	内容
草加市研究開発型企業育成部門補助金	草加市産業振興課	草加市研究開発型企業育成部門補助金審査会
草加モノづくりブランド認定審査会	草加市産業振興課	審査会
八潮市優良技術者及び技能者の選定に係る評価会	八潮市商工観光課	評価会

5.8 会議等への参加

◆本所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H27.4.14	第54回電気科学技術講演会	科学技術館	飽津 彰 永井 寛
H27.5.18	鑄造カレッジ企画運営委員会および鑄造カレッジ合同委員会	機械振興会館	永井 寛
H27.5.23～ 5.24	第166回日本鑄造工学会全国講演大会	早稲田大学 西早稲田キャンパス	永井 寛
H27.5.28	VCADシステム研究会 第13回ポリゴン研究会	(国研)理化学研究所	宇野 彰一 南部 洋平 永井 寛
H27.6.2	VCADシステム研究会 総会、第40回定例研究会	(国研)理化学研究所	宇野 彰一 南部 洋平 永井 寛
H27.6.16	TKF会議	横浜市工業技術支援センター	中村 雅範 細野 光広 福島 泰年
H27.6.24	産業技術連携推進会議 3Dものづくり特別分科会	(地独)東京都立産業技術研究センター本所	南部 洋平 佐藤 宏惟
H27.6.25～ 6.26	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第22回表面技術分科会	石川県工業試験場	清水 宏一
H27.7.2	鑄造品の評価技術研究部会	日本鑄造工学会	永井 寛
H27.7.9	公立鉦工業試験研究機関長協議会	くにびきメッセ	中村 雅範 福島 泰年
H27.7.14	「3Dスキャナと3Dプリンタの連携によるクローズドエンジニアリングの実証」運営協議会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター第3事業所	宇野 彰一 南部 洋平
H27.7.18	第13回埼玉工業大学若手研究フォーラム	埼玉工業大学	稲本 将史
H27.7.27	コラボ産学官埼玉支部技術課題相談会	越谷市中央市民会館	巻島 秀男
H27.8.25	「3Dスキャナと3Dプリンタの連携によるクローズドエンジニアリングの実証」平成27年度実施説明会	(地独)東京都立産業技術研究センター本所	宇野 彰一 南部 洋平 佐藤 宏惟
H27.8.25	コラボ産学官埼玉支部技術課題相談会	春日部市商工振興センター	高柳 博通
H27.8.28	TKF会議	埼玉県産業技術総合センター	中村 雅範 鈴木 康之 他10名
H27.9.9	Association for the Advancement of Assistive Technology in Europe Conference	Hungary	Takashi Handa
H27.9.10	表面技術協会第132回講演大会	信州大学	稲本 将史
H27.9.10～ 11	FOAMS2015	京都大学桂キャンパス	山田 岳大
H27.9.11～12	電気化学会秋季大会	埼玉工業大学	稲本 将史
H27.9.12	成形加工学会発泡・超臨界流体利用成形加工専門委員会	京都大学桂キャンパス	山田 岳大
H27.9.24	ロボットイノベーションコンソーシアム 2015年度 第4回定例会・部会	秋葉原ダイビル5F カンファレンスフロア	高橋 利男 南部 洋平
H27.10.9	品質工学フォーラム埼玉20周年記念講演会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 雅典
H27.10.15～ 16	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 平成27年度音・振動研究会	ピアザ淡海	落合 一裕
H27.10.22～ 23	産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会第53回高分子分科会	金沢都ホテル	小熊 広之 内藤 理恵
H27.10.23	公設試機関長協議会海外展開支援分科会	(地独)東京都産業技術研究センター	中村 雅範
H27.10.23	VCADシステム研究会	(地独)東京都立産業技術研究センター本所	宇野 彰一 佐藤 宏惟

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H27.10.23	第11回鋳造技術研究会	ホテルサンルート室蘭	永井 寛
H27.10.26	「3Dスキャナと3Dプリンタの連携によるクローズドエンジニアリングの実証」運営協議会	(国研)産業技術総合研究所つくばセンター第3事業所	宇野 彰一
H27.11.5 ～11.6	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会総会 組込み技術研究会総会	熊本市国際交流会館、熊本大学	鈴木 浩之 杉山 和樹
H27.11.6	TKF・MTEP会議	千葉仕事プラザ	中村 雅範 細野 光広 關根 正裕 福島 泰年
H27.11.10 ～11	産業技術連携推進会議地域部会総会	群馬県立産業技術センター	中村 雅範
H27.11.11 ～13	第56回電池討論会	愛知県産業労働センター他	栗原 英紀 稲本 将史
H27.11.12 ～11.13	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 第20回 電磁環境分科会 第25回 EMC研究会	アイリス愛知、あいち産業科学技術総合センター	宗形 隆史
H27.11.13	ナノカーボンワーキンググループ	東京 YWCA 会館	山田 岳大 内藤 理恵
H27.11.17 ～11.18	産業技術連携推進会議 ナノテク・材料部会 素形材分科会 全国公設試験研究機関素形材 技術担当者会議および総会	愛知県産業労働センター他	飽津 彰
H27.11.18 ～20	産業技術連携推進会議 知的基盤部会総会、 計測分科会 形状計測研究会・温度熱研究会	八戸プラザホテル	宇野 彰一 長野 隼人 内藤 理恵
H27.11.28 ～29	第12回埼玉・北陸・山梨・長野品質工学合同研究会	朝日屋旅館	原田 雅典
H27.12.9	ナノカーボンワーキンググループ	東京YWCA会館	山田 岳大
H27.12.10 ～12.11	産業技術連携推進会議 知的基盤部会総会、 分析分科会年会、見学会	京都平安ホテル	菊池 和尚 原田 雅典 佐野 勝 細見 喜洋
H27.12.18	「3Dスキャナと3Dプリンタの連携によるクローズドエンジニアリングの実証」運営協議会	(地独)鳥取県産業技術センター 機械素材研究所	宇野 彰一
H28.1.29	超臨界・発泡成形加工専門委員会	京都大学	山田 岳大
H28.1.29	TKFオープンフォーラム	(地独)東京都立産業技術研究センター	細野 光広 關根 正裕 福島 泰年 巻島 秀男 佐藤 優
H28.2.4～2.5	平成27年度産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会総会	(国研)産業技術総合研究所つくばセンター	山田 岳大
H28.2.8	鋳造品の評価技術研究部会	日本鋳造工学会	永井 寛
H28.2.19	VCAD システム研究会	(株)ニコン本社	永井 寛 宇野 彰一
H28.2.19	第6回ナノカーボン実用化推進研究会	東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール	原田 雅典
H28.2.23	「3D スキャナと3D プリンタの連携によるクローズドエンジニアリングの実証」運営協議会	(国研)産業技術総合研究所東京本部(経産省別館)	宇野 彰一
H28.2.24	コラボ産学官埼玉支部技術課題相談会	さいしん浦和ビル	齊藤 弘美
H28.2.26	産業技術連携推進会議総会	トラストシティ カンファレンス・丸の内 Room2+3+4	中村 雅範

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H28.2.26	ナノカーボン樹脂セルレーション材料の創成と 実用化 開発 研究開発推進会議	バンドー化学(株)	山田 岳大 内藤 理恵 原田 雅典
H28.3.3	「3Dスキャナと3Dプリンタの連携によるクローズ ドエンジニアリングの実証」第2回研究会	(国研)産業技術総合研究所 (つくば)	宇野 彰一 佐藤 宏惟
H28.3.11	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 電磁環境分科会 第13回 関東甲信越静EMC研究交流会	神奈川県産業技術センター	鈴木 啓介
H28.3.15	ナノカーボンWG	YWCA 会館	小熊 広之
H28.3.29～31	電気化学会第83回大会	大阪大学	栗原 英紀 稲本 将史

◆北部研究所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H27.4.22	埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議 会平成 27 年度定期総会	新都心ビジネス交流プラザ	樋口 誠一
H27.4.28	平成 27 年度第 1 回埼玉バイオ・ものづくりネット ワークコア研究室管理委員会 兼 平成 27 年 度第 1 回埼玉バイオ・ものづくりネットワークコア 研究室内遺伝子組換え実験安全委員会	埼玉県産業技術総合センタ ー	細井 永次
H27.5.18	埼玉県吟友会平成 26 年度通常総会	ホテルプリランテ武蔵野	横堀 正敏
H27.6.2	かわさき・神奈川県ロボットビジネス協議会	川崎市産業振興会館	鳥羽 遼子
H27.6.3	関東信越清酒協議会「第61回夏季ゼミナール」	ホテルプリランテ武蔵野	横堀 正敏
H27.6.12	TKFバイオパートナーグループ	(地独)東京都立産業技術研 究センター 墨田支所	細井 永次 成澤 朋之
H27.7.16～17	平成27年度関東甲信越地区食品醸造研究会	文部科学省研究交流センタ ー	横堀 正敏 富永 達矢
H27.7.29	第1回次世代コールドチェーン研究会	新都心ビジネス交流プラザ	横堀 正敏
H27.8.18	戦略的基盤技術高度化支援事業	お茶の水女子大学	富永 達矢
H27.9.9	米菓研究会理事会	新都心ビジネス交流プラザ	常見 崇史 成澤 朋之
H27.9.17	コラボ産学官埼玉支部技術課題相談会	埼玉縣信用金庫	北村 英三
H27.10.9	品質工学フォーラム埼玉 20 周年記念講演会	新都心ビジネス交流プラザ	井上 裕之
H27.10.21	有害微生物等検出システム会議	科学警察研究所	細井 永次
H27.10.22	全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎第4号館	横堀 正敏
H27.11.5	第86回関東信越国税局酒類鑑評会表彰式	さいたま新都心合同庁舎 1 号館	横堀 正敏
H27.11.6	地域振興研究会	東京大学 産学連携プラザ	成澤 朋之
H27.11.18～ 20	産業技術連携推進会議 知的基盤部会総会、 形状計測研究会	八戸プラザホテル	関根俊彰、鳥 羽遼子
H27.11.28～ 29	第12回埼玉・北陸・山梨・長野品質工学合同研 究会	朝日屋旅館	井上 之
H27.12.9～11	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析 分科会	京都平安ホテル	鈴木 理博
H28.1.7	埼玉県酒造組合全員協議会	キングアンバサダーホテル	中島 規之 横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
H28.1.21	6次産業化研究会	埼玉県県民健康センター	仲島 日出男
H28.1.22	埼玉県生麺業協同組合新年会	マロウドイン大宮	仲島 日出男
H28.1.27	米菓研究会理事会	新都心ビジネス交流プラザ	常見 崇史
H28.1.29	TKF オープンフォーラム	(地独)東京都立産業技術研 究センター	小島、常見、石 井、鳥羽、山口

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H28.2.2	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部 会 食品・バイオ分科会 産総研LS-BT 合同研 究発表会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	小島 登貴子 齋藤 健太
H28.2.3	埼玉県農商工連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	常見 崇史
H28.2.16	埼玉型フードシステム研究会(仮称)に関する説 明会	(公財)埼玉県芸術文化振興 財団 埼玉会館	樋口 誠一
H28.2.17	有害微生物迅速分析システム会議	科学警察研究所	細井 永次
H28.3.6	深谷ものづくり博覧会	埼玉工業大学	飯塚 真也

6 情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

6.1 研究報告

研究報告 第13巻(平成26年度) 平成27年10月発行
第13-2巻(平成26年度) 平成28年1月発行

6.2 利用促進

6.2.1 業務報告

平成26年度 業務報告 平成27年7月発行

6.2.2 インターネットによる技術情報の提供

(1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- ・平成15年度～平成26年度研究報告
- ・依頼試験案内、開放機器の案内、開放機器研修日程
- ・技術アドバイザー制度の案内、技術アドバイザーデータベース
- ・貸会議室、貸研究室
- ・研修会、講演会等の開催案内
- ・他機関の各種支援情報
- ・セミナー、講習会情報
- ・新規導入機器の紹介

(2) メールマガジン等

県内中小企業の新技术・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行件数 21件

また、電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には1,375件の問い合わせがあった。

6.2.3 記者発表

年月日	タイトル
H27.8.24	県産業技術総合センターが最新の研究成果を発表します -次世代燃料電池車に関する講演を同時開催-
H27.10.2	平成27年度埼玉県産業技術総合センター北部研究所研究発表会の開催について
H27.10.22	第12回埼玉北部地域技術交流会を開催
H28.1.19	先端産業創造プロジェクト “マグネシウム蓄電池”世界初の実用化に目途

6.2.4 マスメディア報道

(1) 新聞報道

年月日	新聞名	内容
H27.4.10	日本経済新聞	竹ステッキについて
H27.4.21	読売新聞	SAITEC 保有特許について
H27.5.26	日刊工業新聞	「横顔」中村センター長インタビュー
H27.5.28	日刊工業新聞	埼玉県特集 センター長挨拶
H27.6.10	日刊工業新聞	XY ステージ 手動でナノ位置決め
H27.7.3	日本経済新聞	食中毒検査キット
H28.1.9	埼玉新聞	SAITEC の特許について
H28.1.20	産経新聞	マグネシウム蓄電池
〃	東京新聞	〃
〃	毎日新聞	〃
〃	朝日新聞	〃
〃	日刊工業新聞	〃
〃	日本経済新聞	〃
〃	埼玉新聞	〃

年月日	新聞名	内容
H28.1.21	日経産業新聞	〃
H28.1.22	日刊工業新聞	人工関節 アルスロデザインとの共同研究
H28.2.1	日刊工業新聞	TKF オープンフォーラム開催結果
H28.2.11	日本経済新聞	小山ゴルフバック
H28.2.22	日本経済新聞	開放特許活用について

(2) テレビ・ラジオ報道

年月日	テレビ・ラジオ名	番組名	内容
H27.5.28	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	早稲田大学 ソフトスチーム米の紹介
H28.2.22	TBS テレビ	夢の扉+	分析機器を利用した試験結果の説明

(3) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
H27.4.1	アクセス埼玉 No.217	ガスクロマトグラフ質量分析計
H27.4.1	埼玉県創造的異業種交流会 はあもにい	GC/MS 及び分析走査電子顕微鏡
H27.4.10	色材協会誌	SAITEC の紹介
H27.4.27	川口市産業振興公社 「公社だより No.155」	ガスクロマトグラフ質量分析計
H27.7.10	川口市産業振興公社 「公社だより No.156」	非接触形状測定機 (3D デジタイザ)
H27.8 月	『NHK ためしてガッテン スミセイ版』 2015 年 10 月号	「麺類 の「超」極うま革命」(茹で上がったうどんの中身の解析画像使用)
H27.11.4	埼玉りそな経済情報 「彩論」	SAITEC の紹介
H28.3.1	川口機械工業協同組合『MACHINE MATE NEWS No.550』	振動試験機の紹介

7 起業化支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室22室を設置している。

7.1 入居企業

(1) 貸研究室(平成27年度実績)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	エスコウインズ(株)	川口市	産業機器	H27.12.9 退去
2	(株)エプセム	川口市	産業機器	
3	(株)アークテイク	東京都新宿区	電子機器	H27.11.30 入居
4	武蔵医研(株)	川口市	医療機器	
5	(株)オプセル	さいたま市	光学機器	H27.12.1 入居
6	メルスモン製薬(株)	東京都豊島区	医薬品	
7	ジェナシス(株)	川口市	バイオ産業	
8	(株)セネコム	川口市	産業機器	2室利用
9	(株)ジャパンビッグ商会	川口市	機能付き日用雑貨	H28.3.31 退去
10	ナノサミット(株)	東京都品川区	工業製品	2室利用
11	石川金属機工(株)	川口市	理化学機器	
12	エムテック化学(株)	川口市	工業製品	H27.11.7 退去
13	ビタミン C60 バイオリサーチ(株)	東京都中央区	化粧品原料	
14	(株)ポリテック・デザイン	さいたま市	工業製品	
15	Shimada Appli(同)	さいたま市	産業機器	
16	フルイドウェアテクノロジーズ(株)	川口市	流体チップ製品	3室利用、H27.4.30 退去
17	玉置電子工業(株)	川口市	産業機器	H27.8.1 入居
18	クエスト(株)	川口市	IT	H27.11.21 入居
19	(株)キット	川口市	産業機器	H27.4.1~H28.3.31
20	(株)分散材料研究所	戸田市	工業製品	H27.6.1 入居

※ この他1室を(公財)埼玉県産業振興公社が埼玉バイオプロジェクト・コア研究室として使用している。

7.2 支援実績

	支援内容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	6企業	103件
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	19企業	93件
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	2企業	5件
4	開放機器の利用を通じた技術支援	9企業	136件
5	試作加工室の提供	4企業	122件
6	各種情報提供(セミナー、助成金、展示会など)	提供件数:52件	

8 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受け入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

8.1 研修生の受け入れ

8.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

県内中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受け入れた。

◆本所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H27.8.18～H28.1.30	東京大学	1	5	機械技術担当 山田 岳大
H28.1.6～H28.3.31	製造業	1	3	機械技術担当 山田 岳大
本 所 計		2	8	

◆北部研究所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H27.4.15～H27. 10.31	個人	1	10	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏
H.27.5.20～H28.3.31	製造業	1	10	製品開発支援担当 高橋 広子 事業化支援担当 竹内 了
H27.6.22～H28.12.7	製造業	1	5	食品・バイオ技術担当 細井 永次
H27.7.1～H28.3.31	製造業	1	5	食品・バイオ技術担当 細井 永次
H27.7.9～H28.3.31	製造業	1	30	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
H27.8.19～H27.9.23	東洋大学	2	14	食品・バイオ技術担当 細井 永次、横堀 正敏
H27.8.24～H27.8.28	東京家政大学	3	5	製品開発支援担当 高橋 広子
H27.8.24～H27.8.28	大妻女子大学	3	5	製品開発支援担当 高橋 広子
H27.10.26～H28.1. 12	製造業	1	13	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
H28.1.18～H28.3.18	製造業	2	5	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
北部研究所 計		16	102	

◆合計

本 所	受け入れ実績	
	人数	日数
本 所	2 名	8 日
北部研究所	16 名	102 日
合 計	18 名	110 日

8.1.2 インターンシップ事業

埼玉県では、学生の職業意識の醸成と県政への理解を深めることを目的として、県庁・地域機関でのインターンシップを実施している。この制度で受け入れた研修生は以下のとおりである。

◆本所

期 間	機 関 名	人 数	研 修 内 容	担 当 者
H27.8.24～H27.9.4	芝浦工業大学 日本大学	2	金属材料・評価技術 ラピッドプロトタイプ技術	材料技術担当 機械技術担当

8.1.3 平成 27 度 鑄造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ

テーマ	技術と経営力を持つ次世代鑄造人材の育成を目的に行われた下記概要の鑄造カレッジ・関東地区インターンシップ事業について、開催内容・カリキュラムの検討、講師選定、講師派遣により、その実施を支援した。
概 要	(1) ねずみ鑄鉄の熱分析と接種及びその評価 (2) 球状黒鉛鑄鉄の球状化処理とフェーディング及びその評価 (3) 工場見学と討議
場 所	(1,2)ものづくり大学 (3)昭和電気鑄鋼(株) (株)木村鑄造所 群馬工場及び群馬FM工場 ホテルふせじま
期 間	(1,2)平成 27 年 12 月 7 日～12 月 11 日 (3)平成 28 年 2 月 5、6 日
参加人数	(1,2)20 名 (3)24 名

8.2 技術競技会

8.2.1 第51回埼玉県鑄造技術コンクール

鑄造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研鑽が重要であり、昨今の諸外国の追い上げや経済環境の急激な変化等によりその重要性は益々高くなってきている。

埼玉県鑄造技術コンクールは、鑄物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鑄物工業協同組合が共同して開催しており、今年で51回目になる。課題を設定し高品質かつ正確に作ることを競っている。

今回は、ねずみ鑄鉄部門延べ16社、球状黒鉛鑄鉄部門延べ18社の参加で行われ、入賞者は次のとおりであった。

受賞工場一覧

ねずみ鑄鉄部門

賞名	事業所名
埼玉県知事賞	新井産業(株)
埼玉県産業労働部長賞	(株)椿本鑄工
川口鑄物工業協同組合理事長賞	永井機械鑄造(株)
川口市長賞	(株)シグマ製作所
一般社団法人日本鑄造協会会長賞	富和鑄造(株)
一般財団法人素形材センター会長賞	(株)辻井製作所
川口機械工業協同組合理事長賞	吉村工業(株)
川口木型工業協同組合理事長賞	(名)富岡鑄工場
川口鑄物技術センター委員長賞	不二工業(株)
新日鐵住金株式会社社長賞	不二工業(株)

球状黒鉛鑄鉄部門

賞名	事業所名
埼玉県知事賞	(株)永瀬留十郎工場
埼玉県産業労働部長賞	(名)富岡鑄工場
川口鑄物工業協同組合理事長賞	(株)シグマ製作所
川口市長賞	(株)辻井製作所
川口商工会議所会頭賞	(株)永瀬留十郎工場 櫛引工場
一般財団法人川口工業会館理事長賞	東洋鑄工(株)
川口鑄物技術センター委員長賞	富和鑄造(株)
埼玉鑄物技能士会会長賞	前澤工業(株)
株式会社神戸製鋼所社長賞	(株)大六鑄造
神鋼商事株式会社社長賞	(株)マスセイ

8.2.2 平成27年度(第58回)埼玉県めっき技術競技会

埼玉県、埼玉県鍍金工業組合との共催により、埼玉県中小企業団体中央会、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)、産業通信社の協賛を得て、装飾用クロムめっきの部、亜鉛めっきの部、工業用クロムめっきの部、バレル亜鉛めっきの部、無電解ニッケルめっきの部の5つの部門で行われた。

今年度の参加状況は装飾用クロムめっきの部8社、亜鉛めっきの部9社、工業用クロムめっきの部8社、バレル亜鉛めっきの部9社、無電解めっきの部10社の延べ44社の参加があった。入賞者は以下のとおりであった。

審査結果

部門 表彰区分	装飾用クロム めっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロム めっきの部	バレル亜鉛 めっきの部	無電解ニッケル めっきの部
埼玉県知事賞	ふたば工業(株)	(株)トーツー創研 大森 留次 氏	川口ハードクロム工業(有)	(有)石井鍍金工場	(株)東工業
埼玉県産業労働 部長賞	(株)甲斐野テックス 久津間 勝明 氏	押尾化学工業(有)	新硬クロム工業(株)	(株)小林鍍金工業	(株)パーツ精工 手代木 将 氏 白石 拓也 氏
埼玉県産業技術 総合センター長賞	(株)真工社 鈴木 里奈 氏	(有)池澤鍍金工業所 横塚 和行 氏	仁科工業(株) 関川 次郎 氏	(株)大倉 ラインB	吉野電化工業(株)

埼玉県中小企業団体中央会長賞	(有)小林鍍金工業	(株)大宮鍍金工業 飯島 尚 氏	吉野電化工業(株)	(株)東工業	仁科工業(株) 内田 英希 氏
埼玉県鍍金工業組合理事長賞	(株)東工業	(有)阪本鍍金	(株)オーク埼玉工場 飯田 泰史 氏	カツデン(株)	スリーケ(株)
フジサンケイビジネスアイ賞	(有)渡辺鍍金工業所	吉野電化工業(株)	(株)ミドリ技研 山崎 宏昭 氏	(株)大宮鍍金工業 眞下 薫 氏	日本電鍍工業(株)
産業通信社賞	(有)今井メッキ工業所	(有)石井鍍金工場	東洋硬化クローム(株) 清家 豊 氏	新田興業(株)	(株)明光社

8.2.3 平成 27 酒造年度春季清酒鑑評会

平成 28 年 3 月 22 日に北部研究所で実施した。出品点数 96 点(21 場)

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。きき酒審査結果、成分分析結果の優良であった 10 製造場の杜氏を入賞とし、そのうち特に優秀であった 4 製造場の杜氏に北部研究所長より技術優秀賞を授与した。

平成 27 酒造年度春季清酒鑑評会技術優秀賞(組員名簿順)

酒造場名	酒 銘	杜 氏 名
(株)文楽	文 楽	村上 大介 氏
滝澤酒造(株)	菊 泉	滝澤 英之 氏
寒梅酒造(株)	寒 梅	鈴木 隆広 氏
石井酒造(株)	富士初緑	和久田 健吾 氏

8.3 ものづくり開発支援研修

県内中小企業等の研究者及び技術者に対し、ものづくり開発に関する必要な事項について、その技術力の向上を図り、もって県内中小企業の発展に寄与することを目的に、3Dデータを活用したものづくり、電気・電子、品質工学のほか、その他のカテゴリの研修を開催した。

(1) 3Dデータを活用したものづくり(3Dプリンタ・CAE等)

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H28.1.22	3Dプリンタ有効活用セミナー	日本ユニシス・エクセリューションズ(株) 宮部 昇一 氏ほか	19
H28.2.5	鑄造技術セミナー【鑄造技術者向け最新シミュレーションシステムの紹介】	日本ユニシス・エクセリューションズ(株) 木村 貴浩 氏ほか	8
合計(延べ数)	2 研修		27

(2) 電気・電子

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H27.12.11	VCCIセミナー	(一財)VCCI協会 小田 明 氏ほか	16
H28.2.2	中小企業の情報セキュリティ対策講座	特定非営利活動法人 埼玉ITコーディネータ	12
合計(延べ数)	2 研修		28

(3) その他のコース

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数	備考
H27.7.3	最新の三次元表面性状パラメータと測定法講習会	キャノンマーケティングジャパン(株) 佐藤 敦 氏ほか	25	
H27.7.17,7.27,8.19,9.1,9.16,9.30	ものづくりの基本構想から事業計画までの企画デザイン実践講座	公益社団法人 埼玉デザイン協議会 平山 裕嗣 氏ほか	12	
H27.10.13,10.27	Web マーケティングの基本を身につける！～Web マーケティングスキルアップ講座 基礎編～	公益社団法人 埼玉デザイン協議会 平山 裕嗣 氏ほか	4	
H27.10.16	コンセプトシート作成方法研修会	(国研)産業技術総合研究所 大場光太郎 氏	3	他に職員7名
H28.2.4	CEマーキング講座「欧州安全規格体系とCEマーキング」	エヌティーエム技術士事務所 中谷二三男 氏	33	他に職員11名
合計(延べ数)	5 研修		77	

(4) 合計

研修カテゴリ	研修数	修了者数
3Dデータを活用したものづくり(3Dプリンタ・CAE等)	2	27
電気・電子	2	28
その他	5	77
合計(延べ数)	9	132

8.4 科学技術体験学習の実施

8.4.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

◆本所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された浦和第一女子高等学校と連携し、センター職員が講義する7つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成 27 年 12 月 15 日(火)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人 数 28 名(浦和第一女子高等学校 1 年生)
- (4) 学習内容
 - ① ちよっくら蕎麦を測ってみよう
 - ② 天然水中のミネラル分の測定
 - ③ 鋳物づくり体験学習
 - ④ X線による非破壊検査体験学習[X線撮影・現像・評価等]
 - ⑤ 3Dプリンターのための立体データ作成方法
 - ⑥ 金属の電解研磨
 - ⑦ 自作アンテナによる地デジの受信と電波の観察

◆北部研究所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された熊谷女子高等学校と連携し、センター職員が講義する4つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成 27 年 10 月 9 日(金)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所
- (3) 人 数 19 名(熊谷女子高等学校 1 年生)
- (4) 学習内容
 - ① ATP 発光法を用いた微生物数の迅速測定実験
 - ② 香りと分析
 - ③ 酵素の性質を知る
 - ④ 天然水中のミネラル分測定

9 その他の事業

9.1 職員研修

職員の技術力向上に資するため、各種研修会に職員を参加させるとともに、職場研修を実施した。

◆本所

研修機関・講座名	期間	場 所	研修者
島津信頼性セミナー	H27.6.22	(株)島津製作所 東京支社	和田 健太郎
めっき管理技術セミナー2015	H27.6.26	(株)日立ハイテクサイエンス サイエンスソリューションラボ東京	和田 健太郎
溶解度パラメータの基礎と応用技術	H27.6.29	連合会館	佐野 勝 坂本 大輔
第85回東北大学金属材料研究所 夏期講習会	H27.7.22～7.24	東北大学金属材料研究所	飽津 彰 菊池 和尚
旋盤実践技術	H27.9.8～9.11、 9.14～9.16	ポリテクセンター埼玉	佐藤 宏惟
電子回路から発生するノイズ対策	H27.9.28 ～9.30	ポリテクセンター埼玉	香西 良彦 横森 千博
実測で学ぶ高周波回路	H27.10.1 ～10.2	高度ポリテクセンター	鈴木 啓介 香西 良彦 杉山 和樹
第 27 回高分子学会 NMR 講座 基礎と応用コース	H27.10.16	東京海洋大学 品川キャンパス	灘野 朋美
第55回現場の硬さ試験講習会 第9回材料試験ユーザーズセミナー	H27.10.27 H27.10.28	工学院大学	廣島 啓太
東京都立産業技術研究センター 生活 空間スタジオオープン記念セミナー	H27.10.29	東京都立産業技術研究センター 墨田支所	矢澤 貞春
研究開発のための電気化学測定 ～次世代エネルギーデバイス固体界面 の解析・評価技術～	H27.11.2	東京理科大学 神楽坂キャンパ ス	稲本 将史
三次元測定機研修	H27.11.16 ～11.17	東京精密土浦工場	島崎 景正 宮崎 智詞
フライス盤実践加工技術	H27.12.7 ～12.11	ポリテクセンター埼玉	佐藤 宏惟
ポリウムグラフィックス(株) VG Studio MAXオプションモジュールト レーニング(欠陥/介在物解析)	H28.1.22	ポリウムグラフィックス(株)	宇野 彰一 宮崎 智詞
日本電子CP試料作製講習会	H28.2.23～24	日本電子(株) 本社・昭島製作所	秋山 稔
金属粉末3Dプリンティング技術講演会	H28.2.25	長野県工業技術総合センター	矢澤 貞春
日本電子EPMA講習会	H28.3.1～4	日本電子(株) 本社・昭島製作所	常木 裕己

◆北部研究所

研修機関・講座名	期間	場 所	研修者
食品中香気分析セミナー	H27.4.24	国際ファッションセンタービル(K FCビル)	仲島 日出男
機器分析ユーザーズフォーラム2015 Food&Agriculture	H27.5.13	丸の内トラストタワーN館 11F	仲島 日出男 樋口 誠一 成澤 朋之
Deng熱等の蚊媒介感染症対策研修会	H27.5.14	さいたま市民会館うらわ	細井 永次

研修機関・講座名	期間	場 所	研修者
FT-IR・ラマンユーザーズフォーラム	H27.5.22	東京コンファレンスセンター・品川	仲島 日出男
FKC公開セミナー	H27.6.4	東京大学農学部・大学院農学生命科学研究科	成澤 朋之
近赤外分析 食品・農業セミナー	H27.6.10	ブルカー・オプティクス(株)	仲島 日出男
第48回東京大学農学部公開セミナー「食卓を彩る農学研究」	H27.6.13	東京大学 弥生講堂	成澤 朋之
waters食品メタボロミクスセミナー	H27.6.15	東京汐留ビルディング・コンラッド東京	仲島 日出男 樋口 誠一
平成26酒造年度全国新酒鑑評会公開きき酒会	H27.6.20	池袋サンシャインシティ	横堀 正敏 樋口 誠一
官能評価ワークショップ	H27.6.27	東京農業大学 世田谷キャンパス(本部・短期大学部)	成澤 朋之
東洋大学板倉キャンパスシンポジウム	H27.7.1	東洋大学 板倉キャンパス	細井 永次
食感性コミュニケーションズ公開セミナー	H27.7.4	東京大学農学部・大学院農学生命科学研究科	仲島 日出男 成澤 朋之
オフフレーバー研究会第5回勉強会	H27.7.7	東京家政大学 板橋キャンパス	成澤 朋之
(公社)日本分析化学会ガスクロマトグラフィー研究懇談会 第21回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会——基礎と応用(アプリケーション)——	H27.7.29-31	麻布大学	富永 達矢
食品安全を支える微生物試験の精度管理コース:1. 5日間	H27.7.30-31	(一財)日本食品分析センター 東京本部	横堀 正敏
サーモフィッシャー社、研究開発者交流のための機器分析ユーザーズフォーラム	H27.7.31	東京コンファレンスセンター・品川	仲島 日出男 樋口 誠一
第31回日本食品化学学会シンポジウム 食品業界における「お客様からのご指摘品」の分析技術の最前線～化学で異物・異臭・腐敗は、どこまで解明できるか～	H27.8.7	赤坂池溜タワー13F	仲島 日出男
日本食品科学工学会第62回大会	H27.8.27-29	京都大学吉田キャンパス	仲島 日出男 成澤 朋之
第31回分析電子顕微鏡討論会	H27.9.1-2	幕張メッセ(日本コンベンションセンター)	常見 崇史
Waters MSフォーラム	H27.9.30	東京コンファレンスセンター・品川	仲島 日出男 樋口 誠一
日本醸造学会大会	H27.10.6-7	北とぴあ	樋口 誠一
食品開発展2015	H27.10.7	東京国際展示場 東京ビッグサイト	仲島 日出男
メルク診断薬セミナー	H27.10.7	東京国際フォーラム	富永 達矢
日本食品分析センター技術成果発表会	H27.10.22	渋谷区文化総合センター大和田	仲島 日出男
第86回関東信越国税局酒類鑑評会製造技術研究会	H27.11.5	関東信越国税局	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
カビの観察と同定セミナー《Aコース》	H27.11.5-6	(一財)日本食品分析センター 多摩研究所	細井 永次
MOCONユーザーズミーティング	H27.11.12	(株)日立ハイテクサイエンス	飯塚 真也
アジレント社メタボロミクスセミナー	H27.11.12	東京コンファレンスセンター・品川	樋口 誠一
第4回島津新素材セミナー2015 新素材のヒントはここに！「バイオミメティクス」～生物の多様性に学ぶ新素材の創出～	H27.11.20	ベルサール神田	常見 崇史
LECO社香気成分分析セミナー	H27.11.20	フクラシア浜松町	仲島 日出男 樋口 誠一 成澤 朋之

研修機関・講座名	期間	場 所	研修者
アルファ・モス・ジャパン官能分析セミナー	H27.12.9	AP品川	仲島 日出男
Thermo fisher「Food&Agricultureセミナー」	H27.12.10	品川イーストワンタワー	樋口 誠一 成澤 朋之
食品品質保持技術研究会講演会	H27.12.16	主婦会館プラザエフ クラルテ	仲島 日出男 富永 達矢 齋藤 健太
AACC International日本支部講演会	H27.12.18	(社)日本パン技術研究所	仲島 日出男 成澤 朋之
おいしさの官能評価	H28.1.12	テックデザイン会議室	成澤 朋之
LabVIEW自動計測システム構築体験セミナー	H28.2.5	大宮ソニックシティ	飯塚 真也
エービー・サイエックスLC/MSセミナー	H28.2.24	(株)エービー・サイエックス	仲島 日出男
(株)サイエンス・フォーラム・真菌(カビ・酵母)を制する	H28.2.26	連合会館	富永 達矢
おいしさの官能評価「製品開発のためのQDAの基本と活用術」	H28.3.4	テックデザイン会議室	成澤 朋之
日立ハイテクサイエンス・Bio電子顕微鏡セミナー	H28.3.8	かながわサイエンスパーク	常見 崇史

◆職場研修

名 称	期 日	会 場	参加人数
競争的資金に係る研修会 講師:事業化支援室 巻島秀男 " 影山和則	H27.6.22	埼玉県産業技術総合センター 3E会議室	23
競争的資金に係る研修会 講師:事業化支援室 巻島秀男 " 影山和則	H27.10.19	埼玉県産業技術総合センター 3A 会議室	14
競争的資金に係る研修会 講師:事業化支援室 巻島秀男	H27.10.26	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 新館会議室	6

9.2 顧客満足度（CS）アンケート

平成 16 年 1 月から利用者の声を生かした事業の充実を図るため、北部研究所を含め顧客満足度(CS)調査を実施している。

アンケート対象は、依頼試験、技術相談、開放機器利用等で来所した利用者である。

アンケート期間は平成 27 年 7 月から平成 28 年 3 月である。回収分の集計結果の概要は次のとおりである。

(1) 回答数 延べ 752 件

(2) 電話、受付及び窓口の対応

満足	概ね満足	やや不満	不満
77%(577 件)	22%(165 件)	0.4%(3 件)	0%(0 件)

(3) 職員の対応

満足	概ね満足	やや不満	不満
81%(605 件)	18%(134 件)	0.5%(4 件)	0%(0 件)

(4) 職員の技術面の説明

満足	概ね満足	やや不満	不満
80%(592 件)	19%(142 件)	0.5%(4 件)	0.1%(1 件)

(5) 目的に対する結果

満足	概ね満足	やや不満	不満
73%(534 件)	26%(191 件)	0.7%(5 件)	0.1%(1 件)

9.3 運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を 2 回開催し、業務内容等を検討した。

9.3.1 開催状況

(1) 第 1 回運営委員会

- ① 日 時:平成 27 年 10 月 5 日(月)
- ② 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5 階交流サロン
- ③ 議 題 「SAITEC の本年度の活動経過報告について」
- ④ 参加人数
運営委員 7 人 埼玉県 11 人 計 18 人

(2) 第 2 回運営委員会

- ① 日 時:平成 28 年 3 月 7 日(月)
- ② 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5 階交流サロン
- ③ 議 題 「SAITEC の本年度の活動経過報告について」
- ④ 参加人数
運営委員 6 人 埼玉県 11 人 計 17 人

9.3.2 運営委員

(50 音順)

伊藤鉄工(株)	代表取締役	伊藤 光男 氏(副委員長)
(株)和幸製作所	代表取締役	小川 逸郎 氏
日本工業大学	産学連携起業教育センター長	古閑 伸裕 氏
埼玉大学	理事・副学長	佐藤 勇一 氏(委員長)
上板塑性(株)	代表取締役	武山 睦子 氏
芝浦工業大学	教授	戸澤 幸一 氏
(国研)産業技術総合研究所	中小企業連携室長	橋本 亮一 氏
(株)松本醤油商店	代表取締役	松本 公夫 氏